令和5年度

事務事業評価シート (危機管理部)

・危機管理課

・防災強靭化室

| 頁~ | 7頁

18頁~ 21頁

Table 1			ン一		△= 1	担当課	₽ ₩€	———	担当係				 重点事業				·菊川市	市国民保 証	隻計画の修	正や危	機事案がな	かったため)委員報	・なし				
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-				担国味		官理味 ———	担目除				里从争未															
	Rb																											
			基本目標	4 快適	な環境で安々	心して暮らt	せるまち 																					
### 1			政策	1 防災	力を高めるる	まちづくり																						
### 1			施策	1 災害	に強いまちを	とつくります									事													
************************************			災害に	強いまちをつ	くるため、国	民保護計画	事業によ	り、武			画に軽微で	ない修正を	行う場合に協	議会	業	成							盲	果				
### 1			カ攻撃	₹事態等におけ 。づき、菊川市[「る国民の保 国民保護協議	き護のための 議会の運営	○措置に関 stを行うこと	『する法 とで、武	を開催す	'నం						果							<u></u> Ā	<u>男</u>				
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総	体系	力攻撃	፟¥事態等におけ	トる国民の生	:命、身体お	よび財産を	を保護																				
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	合	が •	U, EL,	刀以挙に1十つ10	♥ 音 の取り11	Lで図る。		_							H													
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	画	概	事 業					 事 業	•						E													
Part			の												G K													
Part														i	评						各評価網	丰果					総合判定評価	価
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1	一日		事業コ	スト評価		指標	評価		事業内	容評価				
大田 1															分		一般	財源	ct;	1	Е	部	 F価視点	評価	 内容	B 事業	の進め方の改善	善の検討
日 日 日本 日本 日本 日本 日本 日本																			果	2							R7年度の方向	1件
日本		+	= /7]	項目	事業番号					事業名称	;					נימ			_		D			計画の進	捗と成果	コスト		
日本			Ť			国民保				771	-				合	比			率					──に近い状態 画通り』	態⇔「計			
日本			R4	·年度 R	5年度	前年増減	前生			支出金 県支	出金 地	方債 その)他 一般則	才源	定	坦	•国民货	ス護計画に お佐藤領(ついて内	容確認	を行うことが	できた。		<u> E. W. / .</u>				
報題 Ross Ross Ross Mage				9,000	9,000		0	100.0% F	内訳	0	0	0	0	9,000	評	当	一姓雞夫	€他安禎0	ソハダーン で	2作成了	り ることかで	<i>₹1</i> こ。						
		L		-=-				t- +-			→	# =			100	評												
大田									10	<u> </u>		т	ት 🗀	質 頞		+					理題に対・	よる改善図	ミレ相 定される	成里及バ会名	後の方向は	性		
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学							0							_		-武	 力攻撃事	ﯘ態等にお	ける国民の	の保護の	のための措置	量に関する					、武力攻撃事態	等における国
大					9,0	000	9,000	9,00	0 02 給料	¥	0	17 備品	購入費	0	_ <i>I</i> III	民の)生命、身	身体および	「財産を保証	護し、被	害の最小化	を図る。						
大					0	.0%	0.0%		_			10		0	1 0 0 m													
大		事				0	0							0	N W 化													
Pace Pace		業	決財			0	0								汉 全													
日本		コース	算 源 内			0	0							0		+	款	項	B		事業番号				事	業名称		
特殊 大野						0	0							0		_		1				国民	保護計画費					
特殊 大野		分 析		前年比較	100.0%	C 100.09	% C	100.0% C	09 交際	養	0	24 積立	金	0			予算	 算額	前年増減	額	前年比		国庫支出金	県支出:	金	地方債	その他	一般財源
新学比較									_					0				-	88 /#	0	100.0%	内訳			0	C	C	9,000
□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				-										0			菊	加市国民	保護協議	会開催	に伴う経費			期				
日本				11十九权		D 132.87	** D	24.3% A						0				国民保護!	劦議会委員	量報酬								
E											0	2 1111				年	実 施							内				
日本	Е									材料費	0	合計		0			内。							変				
##	C			ほば避難実施 要	要領のパター	-ンの作成を	ご行ったた と	め業務が増加	加した。								谷											
大	評														Р									込				
特別 事業指標・評価 現状値 目標値 実績値 目標値 実績値 目標値 実績値 日標値 実施内容との間連性「日かけと妥当性」の説明 日標値 日標値 日標値 実施内容との間連性「日かせと妥当性」の説明 日度保護措置に係る研究成果や新たなシステムの構築、訓練の検証結果等を踏まえ、必要な見直と行い、市民の生命、身体及び見 日度保護措置に係る研究成果や新たなシステムの構築、訓練の検証結果等を踏まえ、必要な見直と行い、市民の生命、身体及び見 日度保護措置に係る研究成果や新たなシステムの構築、訓練の検証結果等を踏まえ、必要な見直と行い、市民の生命、身体及び見	価		分												L	\vdash	計画	面好	前年増減	好	前年比	B+ 汽车	国庫支出名		全	地方倩	その他	一般財源
事業指標・評価			析												N 行		пте		11 T 20 11%	0		1			0			9,00
指標名 日標値 日標値 具線値 日標値 実験値 達成率 評価 達成率 評価 達成率 評価 成果 1 7 0.0% E 100.0% B 0.0% E 100.0% B 0.0% E 100.0% D 0.0					事業指	標∙評価			R3	年度	R4	年度	R5年度		1 計		0,	委員会の	開催		一小二种							
				指標	 票名										祖 事						ー汁フ栓質							
「本			指一曲			13	1 /2				1				み 業 •									比				
			標	国民保護語	計画の確認	[国 <u>1.0</u>							E										増				
指標 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0			計	Į.			0.0	,			+			2.0			宝											
・実施内容 ・菊川市国民保護計画の修正の必要性がなかったため、国民保護協議会は開催していない。 事業との目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明である。 ・国民保護措置に係る研究成果や新たなシステムの構築、訓練の検証結果等を踏まえ、必要な見直しを行い、市民の生命、身体及び見である。			2												施		施											
・ 京川市国民保護計画の修正の必要性がなかったため、国民保護協議会は開催していない。			効率	<u></u>		T			0.0	0.0	0.0	0.0		-		年	容											
Manual Harabara		実	1 • 菊川r	 市国民保護計	画の修正の	 必要性がな		•	 養協議会は	 開催してい	ない。		0.0%	U		度												
容 事		施力	20/11	. — = VINHXHII		^ 1-10 -0	/-/-	, — ~ MB			J. J. U													増				
実施 施内内 容		容																						見				
内			業 実																									
容			施																		重業のF	的と実施	内容との思達		妥当性 1/1	の重労用		
産を守ることが必要である。			内 宏														・国民仍		係る研究	成果や							い、市民の生命	命、身体及び財
			台													4	一定を守る	7-1-185	エートゥ									
																	圧とり、	ることか火	安である。									

		二 一 一 一 一 一 一 一 一 一		会計 担:	当課	危機管理認	課	担当係			重点事業							義会を開催(R5.5.2 ぎ組合を本部に待根		・近年における風や関係機関との選			方体制の強化
R5		事業名	水防総務	事業							1			li	は至らなかっ	ったため、発生	生しなか	った。	WC E O & C	で対派級法とのた	E156日1090安7		
		基本目標	標 4 快適	な環境で安心し	して暮らせるま	まち																	
		政策	1 防災		っづくり																		
		施策		に強いまちをつ										事					事				
	_		ドに強いまちをつ			- U 水Rto	ēt 7	水防協議会記	5員への報酬4	b水 防活動時	に建設事業組	会 笙	事業	業成					**				
		策に	:係る事務的経費	骨や活動の支援				を派遣するた	めの委託料	71(01/123) # (10.22.00 子 不 他	- 	1	果					是	直			
4/15	本	制の)維持・強化を図	ం																			
総合	本系・既要											(2										
合計	· 既 :	事					事						1										
画	要	業 の					業 の					(
		目的					概					i i	Y					各評価結果				総合判定評価	西
												ſī	一一一一	事	<u>業コスト評</u> 作	価	 指標記	<u> </u>		 容評価		どおりに事業を	
													価分	it.	一般財源	-	1	В	評価視点	評価内容	一 A 適当	とのグに事未で、	定めることが、
													分析		80.0% A		2	効率		A 現状維持		R7年度の方向	1性
		_ 款	項目	事業番号				車	業名称				総	HU	<u>80.0% 7</u> 8事業コスト	B	1	有効		計画の進捗と成り			注果 維持→
		予 9	1 4		水防総務費				米山 が				合	比片	153.1% D	_ _ _ 率	'	必要		— に近い状態⇔「計 画通り」	改善改善		の進め方
		R	R4年度 R			前年比	財源	原 国庫支出	金 県支出金 :	地方債 そ	の他 一般則	才源	尹定	+10		開催し水防	計画を見	直すことができた。		一回畑り」	· · ·		
			55,000	55,000	0	100.		R	0 0	0	0 5	5,000	総合判定評価	担 ´ 当 評									
	L												曲	評									
			項目 予算額	R3年度 40,000	R4年度 55,0		5年度 55,000	節	事: 決算額	業費内訳	節決	算額 /						無いかせてかる	美安し相 ウナム 2	5成果及び今後の方[5 M+		
				40,000					72,0		財産購入費		•	国や県	! からのリエ`	ブン(情報連	絡員)派			を行い、水防体制の		<u></u> る。	
			不用額	40,000			43,000		. 2,5	0 17 備品		0	_ /JLI										
			執行率	0.0%	27.	7.3%	21.8%	03 職員手当	当等	0 18 負担金	:、補助及び交付金	0	る 										
7	転		国庫支出金	0		0		04 共済費		0 19 扶助	-	0 1	7 发										
100	ず 業 ;	決 財	県支出金	0		0		05 災害補償		0 20 貸作		0 3	文 É										
	コース	算 源 内 訳	地方債	0	1	0		06 恩給及び返 07 報償費	退職年 金	0 21 補償、		0		款	項	目]	事業番号		3	事業名称		
			一般財源	0	15,0	000		08 旅費		0 23 投資		0		9	1	4			 k防総務費		F X 1 117		
1	分 折	-	前年比較	0.0% A	_	D 80.0%)% A	09 交際費		0 24 積立	金	0			予算額	前年増減	額	前年比 財源	国庫支出金	皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇皇	地方債	その他	一般財源
	"		職員人件費	699,000				10 需用費		0 25 寄附		0			52,000		3,000	94.5% 内部	5	0 0	0	0	52,00
			総事業コスト	699,000				11 役務費		0 26 公部		0			・ 類川市2	水防協議会委 芯急対策業務	5負報酬 §委託料			下 期			
			前年比較	2912.5% D	60.9%	A 153.19		12 委託料 13 使用料及C	飞售供料	0 27 繰出		0		R6						実施			
CH		主財						14 工事請負		0	· · ·			年度が	新					内			
E		源						15 原材料費		0 合計	1	2,000			3					容			
C		前年	度と比べて人件	費が上がったこ	ことにより、総	事業コスト	・も上がって	ている。		•				1 1	茎					更			
評		コス										F	5							見			
価		ト 分										L	- _		計画額	前年増減	7 安百	前年比財源	国庫支出金	み 県支出金	地方債	その他	一般財源
	- 1	折										1	実 行		52,000		0	100.0% 内部	,	0 0	0	0	52,00
				事業指標				R3年度		84年度	R5年度		対計画		・菊川市2	水防協議会委 心急対策業務	5員報酬 8季託料		·	R6			
			指標	票名				目標値実		重 実績値		績値 糸	1 事		火 古 时 //	5.应为来来5	カ 女 ロ し イイ			年			
		指成	建果		1111				評価 達成 ^図 0.0 1.0	图 評価 1.0	<u> </u>		業							比較			
	- :	標	ステー 水防協議: 1	会の開催		1.0	7		E 100.0			D .	角							増			
		評 l 価 成:	· 注果			0.0	0.0		0.0 0.0	0.0				9	Ē					減			
ŧ	指票	2				0	0						色	R7 P	<u> </u>					因			
	漂 •	効)率			0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0.0		R / 年 名 度	1 -					R8			
1111	実	• 水防	<u>'</u> 坊計画見直しに(系る水防協議会	 	ū	•				1			度						年			
F	施 为																			増			
17		事																		見			
		業 実																		込 み			
		実施 内																事業の目的と事	施内容との関連	 性「有効性と妥当性」	の説明		
		거 容															め、水防			に基づき水害を警戒し		による被害を軽	経減を図ること
		—													., m 7								
														מי	必要である。)							

V120V-1	度	事業会	会計区分	一般到	会計 担当	課	仓機管理	建課	担当係				重点事業					域防災計画の			·)213,840円					(冊子)のペ	ーパーレ	ノス化に向け:	た取り組みが
R5		事	業名	———— 地域防災計	——— 廾画策定事業													災会議の開作 害協定の締						必要	である。				
		基本			は環境で安心して	て暮らせるま	ち																						
	_				力を高めるまちつ																								
	-		施策		こ強いまちをつく												事							事					
	-				るため、地域防		重業に」	F	防災全議:	季昌への 数	温酬や抽句	防災計画	の作成に伴	う経費	事業	# # # #	業成							業課					
		IJ	リ、計画作用	成及び防災	(会議における	審議や関係権	機関との	調	700人工成	女只 1071	·X日/II (* 2025		v) F/3¢.1⊂ ⊤	が正良		֓֞֓֞֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	果							題					
総	体			・有を行うこ 持・向上を図	とで、地域防災Ⅰ ☑る。	に関する総合	含的な防	5災																					
合	体 系 •														С														
計画	相工	事						事							E														
		業の						業 の							C														
		目的						概要							K 評	Ť					各評	価結果					á	総合判定評価	<u> </u>
															価評			コスト評価	i		標評価			———— 内容評価					
															但公			-般財源			1 B				評価内容	Α	計画とる	おりに事業を	進めることが
															分 析	֟֝֞֞֞֞֞֞֞֓֓֓֞֟֝֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	쓸 ├─			成 果							D-	7年度の方向	h 4-
		-	ᆂᄱ		事業番号					事業名称					- 44		ĦIJ	2.6% A 事業コスト	В		2			=1	現状維持 の進捗と成	果			
		予 一	款 項 9 1				新策定 費	<u></u>		争未石仦					合		H	事業コペト 8.1% D		効 率	1 D		列注 4:高い 要性 4:高い	に近し	ハ状態⇔「			<u>推持→</u> 成 ①事業の	
		开 —	R4年度			手増減 日本	前年比		源 国庫3	支出金 県支	出金地	方債 その	の他 一般	財源	判定	<u> </u>	- R方·	ジェル	崔し防		見直すことが				91	4.		<u> </u>	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>
		角上	308,	000	242,000	△ 66,000		78.6% 内		0	0	0	0	242,000	総合判定評価	- 1 - -	担												
	_														伳		評 価												
		-	項E 予算		R3年度 293,000	R4年度 308,00	_	242,000	告		事業領 決算額	貴内訳	節	決算額		+					章里 草直 / -	かさるご	文善案と想定され	ス成里及7	バ会谷のま	5.向性			
			 決算		264,682	285,4	_		01 報酬	•		16 公有!		<u> </u>	A C	. -	地域防御	災計画(冊子	·)配布	先の一部			2日末に心足で10	る水木及り) I⊷) I±			
			不用		28,318	22,52	26		02 給料		0	17 備品	購入費	0	ー ル														
			執行		90.3%	92.	7%		03 職員		0	18 負担金、		0	- I O N n	5													
:	事			支出金	0		0		04 共済		0	19 扶助		0	N 化														
	業	決	財 ———	支出金 2方債	0		0		05 災害 06 恩給及			20 貸付	捕填及び賠償金	0	改善														
	コトスト	が 算 同 目	内 そ	·の他	0		0		07 報償			22 償還金、		0		+	款	項	目		事業番号	-				事業名称			
		田 1	記 一角	投財源	264,682	285,4	74	235,677	08 旅費		0	23 投資	及び出資金	0		L	9	1	5		300000		地域防災計画策	定費					
;	分 析	_		年比較		107.9%		.6% A				24 積立		0				予算額	前年	増減額	前年比				支出金	地方債	t	その他	一般財源
		H	職員人総事業:		871,000 1,135,682	970,00 1,255,4	_	1,121,000 1,356,677				25 寄附26 公課		0			_	320,000	の実施	78,000 布及び地域			可	0	下		U	0	320,000
			前年上	_	479.5% D			3.1% D	12 委託			27 繰出		0				•防災会議	委員幸	足酬	必要な印刷線		当耗只费		期実				
С		3	主						13 使用料	料及び賃借料	0	予備	費	0			R6 年 実		可圖で	ノ正 I用 (〜火	ン女の日から	文件具、小	7作明县		施				
Н		, ;	主 財 源						14 工事		0	A =1				J	度施内								内容				
E	ŀ			:ベ総事業:	コスト及び人件費	歩が増加した	 :		15 原材	料實	0	合計		235,677			容								変更				
K		コス				динет	_																		見				
評価		F													P	L									込 み				
		分 析													A 実			計画額		増減額	前年比				支出金	地方債	t	その他	一般財源
H	+				事業指標・言	亚布			R34	午 使	D4	年度	R5年		N 行取 計	Г -		290,000		△ 30,000 毎及び地域	90 90 1	D.6% 内	八百	0	R6		0	0	290,000
				TF-12E			見状値	目標値		実績値	目標値			<u>′^</u> 実績値	り調事			•防災会議	委員幸	足酬	必要な印刷		当耗只费		年				
		L		指標	·名 	位	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	み業				пшо	ノ正 I用 (〜火	ン女の日かり	文件具、小	7作明县		度 比				
		指 標	成果	防災会議σ)開催	<u> </u>	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	D 円	1									較 増				
		評 _	1 成果				0.0	7 0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9 -										減要				
	指	Щ	2				0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	美 施		実 施 R7 内								因				
7	標 •		効率				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0			R7 内 年 容								R8				
	実 -		1 階級計画	目前した校	る防災会議開催	と は の 禿 昌 瀬	0 専田 弁僧	の女出					0.0%	D		J	度								年度				
	施内			印刷のため		正吋の女員」	3.77 原	受い 文山																	増				
	숬	事																							減見				
		業実																							込み				
		実 施 内																			事業	の目的と	実施内容との関	 車性「右効	性と妥当性	生の説明			
		容															•防:	災計画の見	直し等	のため、「			。また計画に基づ				である。		

		事業会計		会計 担	旦当課 日当課	危機	 管理課	担当係				重点事業										会·説明会	・なし			
R		事業名				72112		<i>3</i>								金、	無線講習会	負担金、!	聲の他、 県防災∕	県防災無約 ヽリコプター	関連営協議会 ・運航のため	会への負担 りの連絡協				
		基本目		な環境で安心	」 て暮らせる	ろまち											・負担金をきる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		堂協議:	会負担金	638.000円					
	ŀ				-											•静	岡県防災へ	リコプター	·運航連	格会負担金	1,898,000	門				
	L	政策		力を高めるま											1	事 ・ツ	じのくに防災	《工無助金	13,82)円(1人×	13,820円)	事				
	L	施策	え 1 災害 子に強いまちをつ	に強いまちを		**** 1- L	-11 Σπ	Π+ <<< →+ /	に悪士で	西弗 市	数 6.2	防災対策に係	7 🛆	事業		業						· 業 課				
		修会	≩参加、防災機器	消耗品購入等	等の事務的網	圣費 やば	協議会	議・研修会	等旅費、	防災ネット	ワーク端末	に係る消耗品	代等	未	֧֓֞֜֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	果						題				
4//>	体		D負担金を支出す 対策の円滑な取り		災関係者の質	質的向」	上と防				こど3団体へ こ対する補助	、の負担金、ミ カ金	いじのく													
総合	体系・概要													С												
合計画	• 概	事					事							E												
画		業 の					業 の							C												
		目 的					概要							K	Ť					各評価	五結果				総合判定評	 価
		-												価評	<u>.</u> -	事業	ニュスト評値	#i	 指	票評価		事業内容				
														価分			-般財源		1	В		評価視点	評価内容	— B 事	業の進め方の改	善の検討
														分 析	֧֧֧֓֞֟֝֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	資 —		成果							D3左座の士5	└ ᢥ╇
		±h	T = -	事業番号					事業名称					***	- 1 1	HII	3.6% D	D			効率性		A 現状維持 計画の進捗と成	果 1	R7年度の方向 縮小↓ 扇	以果 維持→
		予 第 9	項 目 1 5	1000000	防災対策	総務費			争未有你					総合判定評	!	H	事業コスト 6.5% D	効率		D	有効性	11.0	ーに近い状態⇔「i 画诵り」			X来 框付 <u>→</u> の進め方
		开			前年増減			才源 国庫3	支出金 県支	出金地	方債 その	0他 一般	財源	判定	<u></u>	. 3.		《士補助金	きについ	ては、周知			- <u> 画通り </u> らゃんメール等を使			***************************************
			2,796,000	3,129,000	333,000			記	0 33	5,000	0	0 2,7	94,000	評		当										
						.								価	¹ ፤	評 価										
		-	項目 予算額	R3年度 2,715,00	R4年J	 6,000	R5年度 3,129,000	1 2	·····································	事業 決算額	費内訳	⊤ ≥	·算額		+					=里早百1−	対する改善	家レ相 完される ほ	 成果及び今後の方	向性		
				2,643,49	,	9,112		9 01 報酬	•	火 并取 0			0 0	A C	. -			ため、研修	§会へ <i>の</i>				への負担金を支出		災関係者と連携	を図る取り組み
			不用額	71,50	02 80	6,888	193,721	02 給料		0	17 備品	購入費	47,850	カース	」 -	を行ってし	ハく。									
			執行率	97.4	1%	96.9%		6 03 職員				補助及び交付金 2,5	89,820	1 る	,											
	事		国庫支出金		0	0		04 共済			19 扶助		0	変化 変化												
	業	決 財源	県支出金 地方債		0	0		05 災害			20 貸付		0	改 善												
	コス	算月内	その他		0	0		07 報償			22 償還金、		0			款	項	目		事業番号	 			事業名称		
		訳	一般財源	2,643,49	2,709	9,112	2,806,429	08 旅費		172,740	23 投資	及び出資金	0			9	1	5		1000000	防	災対策総務費				
	分 析	<u> </u>	前年比較	116.9%			103.6% D				24 積立		0				予算額	前年增		前年比	財源 4% 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人件費 総事業コスト	2,413,00 5,056,49		5,000 4,112		10 需用 11 役務			25 寄附 26 公課		0				4,144,000		15,000 通旅費	132 需用費、往			1,372,000		U (2,772,000
			前年比較	223.5%			116.5% D				27 繰出		0				・負担金(ヘリコプタ	県防災無絹	線運営物	議会負担	金、無線講	習会負担金、県区				
С		主	静岡県緊急時対	対策調査・普及	_		128,850	13 使用料	料及び賃借料	0	予備	費	0			R6 年 実		こ防災士割					実 施			
Н		財源						14 工事		0						度施内							内			
E	-		┃ ■業コスト及び人	件費が増額し	<i>t-</i> 。			15 原材	料質	0	合計	2,9	35,279			容							変し			
K		コス			0																		見 込			
評価		F												P L	L								み			
		分 析												A 其			計画額	前年増		前年比	財源 .3% 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
-	\dashv			事業指標	票•評価			R3:	年度	R4	 年度	R5年原	F	N 行 取 計	-		3,162,000 ・防災対策	に係る普	82,000 通旅費	76 需用費、行	 没務費		R6		0 (3,162,000
			+6+	票名	単	現状値	値 目標値				実績値		· 《績値	り画組事	Ī		•負担金(i	都市災害 養習会負担	対策連絡	会負担金	、県防災無プター運航	線運営協議会負 連絡協議会負担st	担一一年一			
			 		位	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	み業				こ防災士者				全和 	比			
		標	費や協議	に要する事務 会への負担金	的経 ②の支 件	1.0	1.0	100.0	0.0	3.0	2.0		3.0	D 用	1								較 増			
		評	<u>¹ 払い</u>			0.0	0.0	0.0%	0.0	66.7% 0.0	0.0	0.0	B 0.0	Q _		±							減			
	指標		2			0	0							施		実 施 R7 内							因			
	標 •	交	力率			0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		0.0		F	R7 内 年 容 度							R8			
	実 -	•防:	1 災対策に係る普	通旅費、需用	 費、役務費	0	0			0.0%	D	0.0%	D		,	度							年			
	施内	•県	防災無線運営協 じのくに防災士養	議会負担金、	無線講習会	負担金	及び県防災へ	ヘリコプター	運航連絡	協議会負担	旦金の支出												増			
	容	事	こ・・・ ハーの火工多	(双于不同明)	^H																		見			
		業 実 施																					み			
		施 内																		事業(り目的と実施	施内容との関連性	 生「有効性と妥当性	〕の説明		
		容														•防:	災対策を実	施するため	かには、	必要な事剤	的経費や	協議会への負担的	金が必要である。			

対象年	F度 :	事業:				機管理課	担当係		重点事業				・公用車1台(水防車) 管理をした。	の維持管理	里費及び燃料費	を支出し、適切な	・平成18年登録車以上使用の高走行	う距離の車両が 更		
무	体系・概要	基: i	本目標 4 悦 政策 1 閲 施策 1 災 災害に強いまちる	管理事業(水防車 ・適な環境で安心し が、力を高めるまた ・登書に強いまちをつ ・でくるため、水防が が、対策の安全か	して暮らせるまち らづくり oくります 車(ジムニー) の	適切な維	水防車(ジムニー)の)燃料費、維持管理点	気検に係る費用	C H E C K 評语		事業成果	事業コスト評価	45.	各評価結身		事業課題	そである。	総合判定評価	
		予算	款 項 目 9 1 4	事業番号 400000	公用車管理費(事業名称		ᄁᄲᆝᅟᅟᆥᄱᆉᅚᅙ		価分!	決算	一般財源 27.5% A 総事業コスト	成果 2 効率	В	評価視点 効率性 4:高 有効性 4:高 必要性 4:高	い 計画の進捗と成果 に近い状態⇔「計	a 適当	おりに事業を 7年度の方向 維持→ 成 ①事業の	性果 維持→
		円 -	R4年度 213,000 項目 予算額 決算額 不用額 執行率	R5年度 115,000 R3年度 43,000 39,154 3,846 91.1%	○ P8,000 R4年度 213,000 197,741 15,259	54.0% 内 R5年度 115,000 54,332 60,668	0	9 0 事業費内訳	購入費	A A		- 適切:	な維持管理を実施する	5 .			れる成果及び今後の方向	可性		
	コース	決算(円)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 前年比較 職員人件費 総事業コスト	39,154	0 0 197,741 505.0% D 54,000	54,332 27.5% A 90,000	04 共済費 05 災害補償費 06 恩給及び退職年金 07 報償費 08 旅費 09 交際費 10 需用費 11 役務費	0 19 扶助 0 20 貸付 0 21 補債.1 0 22 償還金 0 23 投資 0 24 積立 54,332 25 寄附 0 26 公課	金 補填及び賠償金 利子及び割引料 及び出資金 金	O R 改善 O R 改善	変化	款 9	1 4	増減額 66,000	事業番号 400000 前年比 157.4%	公用車管理費財源 国庫支内訳	(水防車)	基業名称 地方債 0	その他 0	一般財源
C H E C K w		_	主財源	45.7% A	522.8% D	57.3% A		0 27 繰出 0 予備 0 0 合計	金 費 54,3			度	・修繕料 ・車検に必要な役 実 施 内容	於務費、公 請	果費		- 期実施内容変更見込			
評価		スト分析								P L A N	実 行			単減額 △ 22,000		財源 国庫支内訳	み	地方債 0	その他 0	一般財源 159,00
	指 標 •	指標評価	成果 1 成果 2	事業指標 指標名 の点検回数 の維持管理	単位 現地位 回 1. 0. 0.	E度 年度 .0 1.0 1 7 .0 0.0 0 0	R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 100.0 1.0 1.0% D 0.0 0.0 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0% B	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0 B	取り組み・DO実施	計画事業 円〕	R7 年度	・燃料費 ・点検に必要な修 実 施 内容	5.繕料			R6 年度比較増減要因 R8 年			
			・燃料費 ・点検に伴う修繕	料の支出		, ,						_	水防活動に必要なた	め、継続し			度 増 減 見 込 み 関連性「有効性と妥当性」	の説明		

			シート 会計区分 一般	会計 技	旦当課	5機管理課	担当係	:			重点事業	0			静岡県地震・ 備蓄計画に						・家具転倒防止対音及促進をしてい		/一カー設置につ	いては、更なる
R	5		事業名 大規模地	 震対策等総合	 3支援事業									折	実を図った。						百及促進をして	八心安かめる	0	
		基	本目標 4 快適	な環境で安心		<u> </u>								• t	家具転倒防山 :。	:対策委託(こより、5	51世帯に対し	,家具固定を	上実施し				
				力を高めるま											惑震ブレーカ·					·1 +- 66				
															自主防災会に 2区 13,415千					した。00				
				に強いまちを		(1) A -L 12 -L			-1 444 34- 144 1				事業	業						業				
			災害に強いまちをつ 業により、防災知識				公助とし	て、菊川市 りる。共助と	防災貧機₹ して、自主	7備蓄計画 防災会備割	に沿って物資の 蓄資機材の購入	催 支援	莱	成果						課題				
	<i>/</i> *		報発信を行うとともに	こ、備蓄食料の	D更新及び防災	資機材整備	を行う。	自助として、	対象者への	の補助金支	付や委託事業を	実												
総合	系		を進め、市と地域及	ひ市民一人の	とりの防災刀回	圧を図る。	他し対す	の支援をす	る。			С												
合計	• 1017	事				重	:					Н												
画	体系・概要	業				業						E												
	^	の 目				の 概						K												
		的				要	:					評	<u>'</u> i					各評価約	洁果 ————				総合判定評価	5
												,,,,	評価	事	業コスト評値	西	指標	評価		事業内容	於評価	B B	業の進め方の改氰	キの投計
													分析	決	一般財源	成	1	S	評	価視点	評価内容	B D	未の進め力の以	当の快引
													析	決 _ 算 前	107.0% D	果	2		効率性	4:高い	A 現状維持		R7年度の方向	 l性
			款 項 目	事業番号				事業名称	i					年;	 総事業コスト	効	1	E	有効性	4:高い	計画の進捗と成り		縮小↓ 成	果 維持→
		予算	9 1 5	500000	大規模地震	対策等総合支援	事業費						総合判定評	比上	113.1% D	率			必要性	4:高い	-に近い状態⇔「計 画通り」	改善改善	①事業(の進め方
		角	R4年度 F	5年度	前年増減		4.3 W/34	支出金 県支	出金地	方債 その	D他 一般財	原	定	担	計画に基づき	備蓄を進め	ることだ	バできた						
		E]	30,818,000	34,568,000	3,750,000	112.2% F	为訳	0 12,90	05,000	0 3,05	2,000 18,611	,000	評価	担当評										
			4 0	D0/F/#	D4/5/#	D5/5#			± ₩ ;	# 		_	ТШ	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一										
			項目 予算額	R3年度 33,995,00	R4年度 30,818,00	R5年度 00 34,568,00	0	節	事業 決算額	費内訳 	沧 決算	- タゴ -						理題に分	する改善室	と相定される同	 戈果及び今後の方			
			 決算額	33,003,1			6 01 報		0		財産購入費	0 C		·家具 ^章	运倒防止 対策	や感震ブレ	/一カー			周知していく。	《未及0.7 及07月	177		
			不用額	991,84			4 02 給		0	17 備品			加え											
			執行率	97.	1% 99.5	5% 99.7	% 03 職	員手当等	0	18 負担金	補助及び交付金 14,100	000,0	る変											
	車		国庫支出金		0 1,792,28		0 04 共			19 扶助		0 N	11											
		決			0 9,433,00		0 05 災			20 貸付		0 改	Ξ.											
	コス	算	源 地方債 内 その他		0 1.586.00		0 06 恩新	る 及び 退職年金 営 書	-	21 補償、1		0 =		款	項	目		事業番号			2	事業名称		
	۲	闬	訳 一般財源	33,003,15			6 08 旅			23 投資		0		9	1	5		500000	大規	模地震対策等	総合支援事業費	于 未口1小		
	分析]	前年比較	51.1% A						24 積立		0			予算額	前年増減	或額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1/1		職員人件費	1,962,00	2,079,00	2,548,00	0 10 需	用費	18,341,523	25 寄附	金	0			34,988,000		20,000	101.2%		0	13,255,000		0 1,084,000	20,649,000
			総事業コスト	34,965,1						26 公課		0						品や備品等 <i>の</i> 貴補助金の実		j)	下			
			前年比較	54.1% /			_	Ҡ料 ■ 料及び賃借料		27 繰出		0		R6	*家具転倒	防止対策	委託料((自助)		巛 べ…じの 理 7	実			
			<u> </u>		並 	,,	0 13 使用 0 14 工 ³		0	72 1/1	其	-		年	実 対する補助	・一カー設直 助金(自助)	1. 東、 間)	長ンエルダー。	改直負、 奶	災ベッドの購入	、費に 施 内			
			酒		静岡県市町村振興協:		0 15 原		0	合計	34,478	,436			内						容			
			前年度と比べ総事業	コスト及び人	.件費ともに増額						,			1	容						更			
		コス										l p									見 込			
		ト 分										Ĺ									み			
		析										A	実行	-	計画額	前年増減		前年比 90.4%	財源 内訳	国庫支出金	県支出金 9,014,000	地方債	その他 0 1,075,000	一般財源 21,526,000
C				事業指	雲•評価		R	3年度	R4	年度	R5年度	取	計	F	31,615,000	-		90.4% 品や備品等 <i>の</i>		_	9,014,000 R6		1,075,000	21,326,000
E			46.1			見状値 目標値		実績値	目標値		目標値 実績	値に	画事					豊補助金の実 要配慮者対			年			
C			指标	票名		年度 年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率				・感震ブレ	ーカー設置	遺費、耐力			災ベッドの購入	・費に ・費に 比			
評		指標	成果 備蓄計画	に伴う整備率	率	1.0 1.0	100.0	100.0	40.0	100.0	30.0 100		用		対する補具	助金(自助))				較			
価		評	1	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1 7	100.0%	В	250.0%	S	333.3%										増減			
	±≌	価	成果 2			0.0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0			1	美						要因因			
	指標		効率			0 0	25,000.0	0.0	100.0	0.0	100.0 0.0	施)	3	R7 [内									
	実		1		%	1 7	0.0%	E	0.0%	E	0.0% E			年月	李						R8 年			
	施		防災備蓄の更新及自主防災組織資機			<u>————</u>															度増			
	内容		•家具転倒防止委託	料(自助)		·3/															減			
	台	事業	・感震ブレーカー設置	重貨に対する	細切金(目助)																見			
		実																			7+			
		施 内																			上「有効性と妥当性			
		容													計画的に市と	地域の防災	炎資機材	の整備を進る	めていく必要	要があるた <u>め、</u>	本事業は必要であ	<u></u> -		

ッター	度	事業	美会計区分 一般	会計 担当課	危機	光管理課	担当係		重点事	業			・加茂水防倉庫	及び河川防	災ステ	ーション	に係る維持	寺管理経	費を				目的において、	
R5		導	事業名 水防施設	—————— 等管理事業									支出した。・気象情報など						<i>-</i> m			ではない。 必要がある。	肝修の場や地域	(0)文派の場
		基	基本目標 4 快適	な環境で安心して暮	事らせるまち								・大雨、洪水及で いて雨量情報及	び河川のた	水位情報	など、災	害の原因							
			政策 1 防災	 力を高めるまちづく	IJ								報の収集を図り・国土交通省と	、災害対策 の協議によ	・減災に り赤土コ	取り組 <i>A</i> 水防倉	が。 重跡地整	地が完了	ر. ا					
	-			に強いまちをつくり							_	事	t=.	,	,,,,	7,10,7,1	+»,,.o. <u></u>	-5.0) 5 1	事					
	-		災害に強いまちをつ			により、	水防倉庫の維持管理	理費 国交省	省河川情報共有シス	ステムに係	事業	事 業							業					
w (4	本		水防施設や各種シスの維持・向上を図る	ステムの維持管理を			る電柱共架代、ふじ費	のくに防災性	青報共有システム <i>0</i>	D維持管理		第							題					
総合	本 系 •										С													
合	班 .	事				事					H E													
画 蝦	要	業の				業 の					C													
		目的				概要					K 評					各評	価結果						総合判定	————— 评価
		-,									価証	₽ <u> </u>	事業コスト評価	<u> </u>	 指標				事業内容	 容評価		-		
											任	. .	An Dive		1	Е		評価も			 ·価内容	一 C 局計	業規模・内容・	王体の見直し
											分析			成果	· ·		- 効率						R7年度のプ	古州
	+		款 項 目	事業番号			事業名称				- 総	l Bi	307.0% D 総事業コスト	D	2				4:高い 4:高い		!状維持 進捗と成果	マニュスト		成果拡
		予	款 項 目 9 1 4		坊施設等管理	 里春	事未有你				総合半定語	計	松争未コスト 263.8% D	効率	'	S	少 必要		4: 同い 4: 高い		状態⇔「計			業の進め方
		算		R5年度 前年 ^出			才源 国庫支出金 県支	出金 地方	債 その他 -	 -般財源	半	IJ	・水害に備え、7		」 適切に約	持管理				囲通り		% E	.	***/
		用	817,000		68,000	/*:	i款 o	0	0 0	2,985,000	言	E 担平 当 五 詞												
	L						_				伍	5 評 個												
			項目		R4年度	R5年度		事業費		24 PF 95						÷田 日五 / •	- 	・ギタしお	ロウナムフ	一世田 ひょじ	<u> </u>	5 h4		
			予算額 決算額	202,000 189,312	817,000 808,826	2,985,000	かり かい	決算額	節 16 公有財産購入費	決算額	A C	· 沪	川防災ステーショ	ンについて	は、水原						今後の方向		方に活用してし	ただくよう啓
			不用額	12,688	8,174		7 02 給料		17 備品購入費	0	カース	ローフロ	\\\ _\		100 () ()	J HALLING V	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1-0-012	/11·0·C 1-/	34764 1930		J (0) 11. 2005	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7272 (0.7 1
			執行率	93.7%	99.0%		03 職員手当等		18 負担金、補助及び交付金	0	I S	5												
	+		国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0	N 3	2												
当	争 集	決	財 県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	改善化													
=	<u> </u>	算	源地方債	0	0		06 恩給及び退職年金		21 補償、補填及び賠償金		普		+			± ## ## 1	,				_	± ₩ 5 TL		
Z	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	闬	源 地方債 内 その他 訳 一般財源	189,312	808,826		07 報償費 08 旅費		22 償還金、利子及び割引料 23 投資及び出資金				款 項 9 1			事業番号		水で大佐型	と 等管理費	ь	Ę	事業名称		
分析	分一、	J	前年比較	·	,	307.0% D			24 積立金	0			予算額	 前年増減	花落	前年比			庫支出金		出金	 地方債	その他	一般則
和	开		職員人件費	131,000	276,000		10 需用費		25 寄附金	0			167,000	△ 2,81			5.6% 内	,,,,,		0	0	1077	0	0 16
			<i>₩</i> 1			2.061.752	11 役務費	82,017	26 公課費	0			167,000			河川防	<i>,,,</i>	(((=(1/巛保除#		_			
			総事業コスト	320,312	1,084,826	2,801,733							・水防倉庫	の光熱水費	費(加茂	נפווי לנייל	災ステー	/ 1/ / /						
			前年比較			2,861,753 263.8% D			27 繰出金	0			・水防倉庫 信料 ・ふじのくに	-防災情報:	共有シス	(テムの[回線使用:			ソフト 月	明 定			
C		,	前年比較				13 使用料及び賃借料	40,605	27 繰出金 予備費	0		R/	・水防倉庫信料・ふじの公	ニ防災情報: 記末の更新!	共有シス こ伴う備	マイスの[品購入]	回線使用: 1	料、コンヒ		ソフト 月	明 皇 布			
H							13 使用料及び賃借料 14 工事請負費		予備費	0 0			・水防倉庫 信料 ・ふじのくに 使用料、端 ・国交省河	-防災情報:	共有シス こ伴う備	マイスの[品購入]	回線使用: 1	料、コンヒ		ソフト 月 ソフト 月 カ マ マ	明 毛			
			主財源	85.0% A 3	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料	40,605 2,321,000 0		2,482,753		年	・水防倉庫信料・ふじの公	ニ防災情報: 記末の更新!	共有シス こ伴う備	マイスの[品購入]	回線使用: 1	料、コンヒ		リフト 月 ソフト 月 カ	明复布勺字变			
H E C K		П	主財源	85.0% A 3	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	40,605 2,321,000 0	予備費	2,482,753	0	年	・水防倉庫信料・ふじのくに使用料、端・国交省河内	ニ防災情報: 記末の更新!	共有シス こ伴う備	マイスの[品購入]	回線使用: 1	料、コンヒ		ソフト ソフト 男方 P 名 3 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏	阴尾拖勺孥变更見			
H E		コスト	主財源	85.0% A 3	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	40,605 2,321,000 0	予備費	2,482,753	P L	年	・水防倉庫・水防倉庫・ふじのくにまた。中田外、・国交省の内容	-防災情報 末の更新(川情報共4	共有システ	(テムの) 品購入3 ムに係る	回線使用: 建 電柱共架	料、コンヒ	[?] ューター`	ソフトリー・アンドー・アンフト・アンフト・アンスを選手を表示しています。	胡尾毎勺字変更見込み			
H E C K 評		П	主財源	85.0% A 3	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	40,605 2,321,000 0	予備費	2,482,753	P L A N	年度	・水防倉庫・水門のくには、水内のでは、水田のでは、木田のでは、水田のでは、木田のでは、水田のでは、木田のではではいは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木田のでは、木	- 防災情報 示の更新に 川情報共存 前年増減	共有システ	(テムの) 品購入引 ムに係る	回線使用:	料、コンヒミ代		ソフトリー・アンドー・アンフト・アンフト・アンスを選手を表示しています。	胡尾毎勺字変更見込み	地方債	その他	一般則
H E C K 評		コスト分	主財源	85.0% A 33	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった	40,605 2,321,000 0	合計		N 行 取 計	年度	・水防倉庫 信かじのくに 使用外 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本	に防災情報 法の更新に 川情報共和 前年増減	共有システ に伴う備 育システ な 額	(テムの) 品購入引 ムに係る 前年比	回線使用電柱共架電柱共架 財.6% 内	料、コンヒ	『ューター〉	ソフト	明年他内容变更是之外 出		その他 0	一般財
H E C K 評		コスト分	前年比較 主 財 源 令和5年度は赤土T	85.0% A 33	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	40,605 2,321,000 0	予備費 合計 R5	6年度	N 行取 計	年度	・水防倉庫・シー・水内容・水川のくに 中国交 を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に防災情報 法の更新に 川情報共和 前年増減 の光熱水引	共有システ に伴う備 有システ 対 額 1,000 費(加茂	ボテムの! 品購入引 ムに係る 前年比 100 河川防	回線使用 電柱共架 財 0.6% 内 災ステー	料、コンヒスのでは、コンヒスのでは、コンヒスのでは、コンヒスのでは、カンドス	プューター、 庫支出金 と災保険*	ソフト	明尾拖勺容变更更及少出 金 0 6 6 6 6			
H E C K 評		コスト分	前年比較 主 財 源 令和5年度は赤土T	85.0% A 33	38.7% D	263.8% D	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった	40,605 2,321,000 0	予備費 合計 R5	6年度	N 行 取 計	年度	・水料じの(い 第四 を	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	ソフト	明年他内容变更是及少出 6 年度			
H E C K 評		コスト分析指	前年比較 主 財 源 令和5年度は赤土T	85.0% A 33	38.7% D 38.7% D 38.7% D 38.7% D 4.2	263.8% D たため、総事業 ぐ値 目標値度 年度 年度	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 100.0 7.0	40,605 2,321,000 0 R4年 目標値 達成率 100.0	予備費 合計 手度 R5 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0	N取り組み・	年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・水料じの(い 第四 を	に防災情報 一防災情報 一防災情報 の光熱水引	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	リフト	明尾拖勺字变更是入头 出 66 再度比交			
H E C K 評		コスト分析指標評	前年比較 主	85.0% A 33	38.7% D ax 事を行った cx 事を行った cx 事を行った cx 年度 bx 1000 所 1	263.8% D たため、総事業 に使 年度 100.0 7	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 100.0 7.0 7.0% E	40,605 2,321,000 0 0 R4年 目標値 達成率 100.0 7.0%	予備費 合計 E度 R5 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0%	年度 実績値 評価 7.0 E	N取り組事	年度 一十回事業 一十	・水陽・水海 (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本)	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
HECK評価		コスト分析指標	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土T おれて 水防施設 れ 水防施設 成果 水防施設	85.0% A 33	西 単 現状 位 年月 所 100.	263.8% D たため、総事業 は値 目標値度 年度 0.0 100.0 7 0 0.0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 100.0 7.0	40,605 2,321,000 0 R4年 目標値 達成率 100.0	予備費 合計 手度 R5 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度 一十回事業 一十	・水陽・水海 (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本)	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
H E C K 評		コスト分析指標評	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土T が現 水防施設 成果 1 成果 2	85.0% A 33 下水防倉庫跡地整地 事業指標・評値 票名 の適正な維持管理	西 単 短 (位 年) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力	263.8% D たため、総事業 に	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 コストが増額となった R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 100.0 7.0 7.0% E	40,605 2,321,000 0 0 R4年 目標値 達成率 100.0 7.0%	予備費 合計 E度 R5 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0%	年度 実績値 評価 7.0 E	N取り組み・D	年度	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	明尾拖勺字变更見入少 出 6 手度比交曽或要因			
HECK評価 指標・	日 曹宗 •	コスト分析指標評	前年比較 注	85.0% A 33 不水防倉庫跡地整地 事業指標・評価 票名 の適正な維持管理 及び防災資機材の コストの現状維持率	西 単 現状 位 年度 所 100 所 1 0.0 0 100 1	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 の 100.0 7 0 0.0 0 0 100.0 7	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 □ 15 原材料費 □ 15 原材料費 □ 25 中 26 中	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 R5 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・水陽・水海 (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本) (京本)	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
HECK評価 指標・実施	旨票• 実布	コスト分析指標評価	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が現 れ が施設 の現 れ が が が が が が が が が が が が が が が が が が	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 「河川防災ステーショ	西 単位 知 (位 年月 (位 年月 (100) 所 1000 1 1000 1 1000 1 1000 1 1000 1	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 の 100.0 7 0 0.0 0 0 100.0 7 気使用料、火災	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
HECK評価 指標・実旅内	指票• 実布内	コスト分析 指標評価	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が施設 のスタールでは、水防施設 は水防施設 の大に防災情報 ・かからにの次に防災情報 ・本のがでする。	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	To A D R 4 D R 4 D R 4 D R 4 D R 4 D R 5 D R 5 D R 5 D R 5 D D D D D D D D D				
HECK評価 指標・実施	指票· 美布内容	コスト分析 指標評価 事業	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 お収果 1 成果 1 成果 2 効率 1 小が応急 1 ・加茂水防倉庫及び・ふじのくに防災情	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字板 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に 防災情報	共有シー 共有シー 大額 1,000 茂 1,000 茂 シ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ ボーシ	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドスのではでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カンドスのでは、カン	プューター、 庫支出金 と災保険*	To A D R & B B R & B B B B B B B B B B				
HECK評価 指標・実旅内	指票· 美布内容	コスト分析 指標評価 事業	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が施設 のスタールでは、水防施設 は水防施設 の大に防災情報 ・かからにの次に防災情報 ・本のがでする。	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字板 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に 防災情報	共有シー 大名 大名 (1,000 茂 シー 大名 (1,000 茂 シー (1,000 大 シー)	(テムの) 品ムに係る 前年比 河川防 八川防 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日 八日	回線使用に関する。 財 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	料、コンヒスのでは、カンドス	プューター、 庫支出金 と災保険*	To A D R & 月上車出演号区 R & 月出演号 R & 日 & 日 & 日 & 日 & 日 & 日 & 日 & 日 & 日 &				
HECK評価 指標・実旅内	指票· 美布内容	コスト分析 指標評価 事業実施内	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が施設 のスタールでは、水防施設 は水防施設 の大に防災情報 ・かからにの次に防災情報 ・本のがでする。	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字板 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	** ** ** ** ** ** ** *	「	共に有 有(4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	では、日本のでは、日本	回線 (単一) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	料 代 源訳 シ 料 代	庫 火災ューター: 出 険料 との関連・	To A D R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月上車上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上				
HECK評価 指標・実旅内	指票· 美布内容	コスト分析 指標評価 事業実施	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が施設 のスタールでは、水防施設 は水防施設 の大に防災情報 ・かからにの次に防災情報 ・本のがでする。	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字板 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「	共に有 有(4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	では、日本のでは、日本	回線 (単一) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	料 代 源訳 シ 料 代	庫 火災ューター: 出 険料 との関連・	To A D R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月上車上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上	H 16 15 15 15 15 15 15 15			
HECK評価 指標・実旅内	指票· 美布内容	コスト分析 指標評価 事業実施内	前年比較 主 財源 令和5年度は赤土丁 が施設 のスタールでは、水防施設 は水防施設 の大に防災情報 ・かからにの次に防災情報 ・本のがでする。	85.0% A 3: 「水防倉庫跡地整地事業指標・評価票名 の適正な維持管理 及び防災資機材のコストの現状維持率 現共有システムの回 ・報共有システムには報共有システムにした。	西 単 現状 位 年月 100 所 100 100 100 100 100 100 100 100	263.8% D たため、総事業 にため、総事業 にも 年度 にも 100.0 7 0.0 0 0 0 100.0 7 気使用料、火ジュンピューター、	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 13 下費 15 原材料費 15 原材料費 17 下が増額となった 10 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	R4年 目標値 達成率 100.0 7.0% 0.0 100.0 427.0%	予備費 合計 字板 実績値 目標値 評価 達成率 7.0 100.0 E 7.0% 0.0 0.0 427.0 100.0	年度 実績値 評価 7.0 E 0.0	N取り組み・DO実行計画事業 戸し	年度	** ** ** ** ** ** ** *	「	共に有 有(4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	では、日本のでは、日本	回線 (単一) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	料 代 源訳 シ 料 代	庫 火災ューター: 出 険料 との関連・	To A D R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月北流里込み R & 月上車北流里区 R & 月上車上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上	H 16 15 15 15 15 15 15 15			

象年月				会計 担当	課 危	機管理課	担当係				重点事業				報無線、防災 要する点検委詞							こついては、定期	的な保守点検を行 がある。	テい、災害時1
R5		事業	業名 防災施設	等管理事業	·									· 	主防災会に対 を交付した。	して、ため	池の水	位調整	行った61	箇所へ補助	2/11/22/00/2			
		基本	目標 4 快適	な環境で安心して	に暮らせるまち	<u>,</u>									水機や同報無	線の保守	· 点検に	よる指摘	事項の修	繕を行った。				
		政:	(策 1 防災		 づくり																			
		施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 に強いまちをつく	 ります								_	事							事			
	\vdash		後害に強いまちをつ			業により、	防災資	幾材等修繕	料、同報無	線付属機	器「音声自動応答	装	事業	業成							業課			
		防	が 災資機材等の修 施設の維持管理	善や各種防災無約	保守点検委	託など防	置」に係	るNTT基本 量外子局の	料金、各種	防災無線	保守点検委託料	. 同		果							題			
※ 体系	5	火	《他故切推行官理》	r.週 切1〜1丁い、 の	火力維持"问	工を図る。	¥以 無 称 /	至かす同の	唯特官理に	-安9の負	#1													
総合十 体系・脚												С												
十 概	1 事	事				<u> </u>	事 *					E												
世 要		ひ				(0					C												
	白白					# 5						評						各評	西結果				総合判定評価	<u> </u>
												価	評	事	 業コスト評価		指標	 評価		事業に	 内容評価	±+	画どおりに事業を	進めることが
													価分	it.	一般財源	-	1	s		————— 評価視点	評価内容	A væ		定めることが、
													分析	算一	1.6% A	成果	2		効率				R7年度の方向	性
	+	些	款「項」目	事業番号				事業名称					総総	FIJ	事業コスト	A	1	D			=1 = 6 1/4 1/5 1			果維持一
	う	7	9 1 5		 方災施設等管			サネロか					合	Hz - 110	6.1% A	効率	<u>'</u>		必要		――に近い状態⇔	↑計 改善	①事業(
			R4年度 F				財源	車支出金 県支	出金 地方	方債 その	の他 一般財活		総合判定評	₄ 災	害に備え、防災	資機材の	管理や	点検は必			一回歴り			
	F	۶ 	26,502,000	18,177,000 △ 8	3,325,000		内訳	0 44	0,000	0 63	0,000 17,107	000	評	担 当 評										
	L												価	評 価										
		_	項目 予算額	R3年度 17,008,000	R4年度 26,502,000	R5年度 0 18,177,0	00	節	事業領 決算額	費内訳 	節 決算	安石						=田 旦百 / -	シオスル	美安し相守され	る成果及び今後の	七白州		
				16,493,230	24,619,678		15 01 報		人异积 0		財産購入費	· 0 C		·防災資	機材について	は、備蓄数	女の確保				る成果及びう後の	力时往		
			不用額	514,770	1,882,32		85 02 給		0			0 T	加え											
			執行率	97.0%	92.99	% 98.	5% 03 職	員手当等	0	18 負担金	.補助及び交付金 758	100 I	る変											
車			国庫支出金	0	(0	0 04 共			19 扶助		0 N	1/-											
業		央 財		430,000	450,000	0 440,0	00 05 災			20 貸付		0 改												
コス	貨	算 源	地方債 地方債 その他	630,000	620,000	0 610.0	0 06 恩約 00 07 報	合及び退職年金 営 弗		21 補償、		0 =		款	項	目		事業番号	<u>.</u>			事業名称		
 	· F	引 計	記 一般財源	15,433,230	23,549,678		15 08 旅			23 投資		0		9	1	5		200000		防災施設等管理	 里費	学 未有你		
分析	\ -	<u>-</u>	前年比較	105.3% D	152.6% D					24 積立		0			予算額	前年増減	額	前年比	財派			地方債	その他	一般財源
171	'		職員人件費	1,005,000	589,000	0 1,273,0	00 10 需	用費	3,907,568	25 寄附	金	0			17,840,000	△ 337	,		.1% 内部		0 63,000)	0 630,000	17,147,00
			総事業コスト	17,498,230	25,208,678		15 11 役			26 公課		0			·防災資機村 ·防災無線構	tの消耗品 &、同報無	品費、燃 線等の	料費、修 電気使用	繕料、定其 料、用地(阴検査 借地料、通信料	下 、定期検 期			
		<u> </u>	前年比較 太陽光発電た		144.1% D		_	託料 料及び賃借料		27 繰出		707		R6	査、保守点権	食委託料					実			
		主則	_				00 13 候り 00 14 エ		38,600	72 1/#	貝			年	事務所防災	倉庫)のり	、災保隊	料、保守	点検業務	防災無線中継周 委託料	哥、水道 │ 施 │ │ 内 │			
1		源		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		110,0	15 原		0	合計	17,909	015			* KA44/N AK /1	耐震性則	小槽点	検口開放	大清掃業 務	务委託	容			
9	T.		管理資機材の保守	点検委託による	指摘事項や故	な障等により、			なり維持管	理に必要な	コストが発生す	5		容							更			
平		ス	「能性がある。									Р									見			
15	H	4										L			ALTERNATION OF THE PROPERTY OF	<u> </u>	φŦ	** *- 11.		- 同席士山	みしませる	1.1 1. /=	7.011	AD DILYT
	t t	折										A	実行		計画額 18.841.000	前年増減 1.001		前年比 105	財派 .6% 内部		1金 県支出金 0 330,000	地方債	その他 0 630,000	一般財源 17,881,00
\vdash	+			事業指標・詞	平価		R	3年度	R4:	年度	R5年度	取	計		・防災資機	の消耗品	費、燃	料費、修	善料、定 其		R6	<u>′ </u>	000,000	17,001,0
			#5+	票名		状値 目標値	直目標値	実績値	目標値	実績値	目標値 実績	値組	画事		・防災無線機 査、保守点権	後、同報無 食委託料	線等の	電気使用	料、用地位	借地料、通信料	ŀ、定期検 _年			
				示 口	位	年度 年度		評価	達成率	評価	達成率 評	西み	業			倉庫(中5		庫、デシ	タル地域	防災無線中継属	10			
		百	成果 飲料水用	耐震性貯水槽保	יו ווי	1.0 1.0	100.0	0.0	1.0	1.0	1.0 4.0		闬		の火災保険	料、保守点					較 増			
	打机机	票	*********			1 7	0.0%	E	100.0%	0.0	400.0% S	0			*飲料水兼月	目耐震性則	水槽点	.検口開力	対清掃業 務	务委託	i			
	村言	票 平	1 点検		設	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0 0.0	美 施		実 施 R7 内										
指	村富石	票 平	*********		(0.0 0.0	0.0	0.0						R7 内							因			
指標	村富作	票 平 二 二 二	1 点検 成果 2 効率 防災施設	及び防災資機材の	の 箇 2		14,484.		100.0	26.0	100.0 26.)		年一次										
標・実	村富作	票	1 点検 成果 2 防災施設 1 点検箇所	数	の 箇 所	0 0			100.0 26.0%	26.0 D	100.0 26. 26.0% D			年日容度							R8 年			
標・実施	村	票平面 0000	1 点検 成果 2 防災施設 1 に検管所 防災資機材の消耗 防災無線機、同報	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使	の 箇 2 所 を	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			年 容							R8 年 度 増			
標・実	村言 (1)	票平面 - 防い・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・防・	1 点検 成果 2 防災施設 1 防災施設 が災資機材の消耗 防災無線機、同報 防災施設、倉庫(中	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使 中央防災倉庫、デ	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			年 容							R8 年 度 増 減			
標・実施内	村 記 記 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	票平面の防防の食が	1 点検 成果 2 防災施設 1 に検管所 防災資機材の消耗 防災無線機、同報	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使り 央防災倉庫、デ 貯水槽保守点検	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			年 容							R8 年度増減見込			
標・実施内	村部位 一 一 再等写放	栗平田 おいて おいま おいま おいま おいま まま しんしょう かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	1 点検 成果 2 防災施設 1 防災施設 が災資機材の消耗 防災無線機、向消耗 防災施設、倉庫(中 飲料水兼用耐震性	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使り 央防災倉庫、デ 貯水槽保守点検	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			年 容							R8 年度増減見込み			
標・実施内	村言化 三三二字写为了	票平面 おおお おおお おおお おおお おおお おおお おおお おおお おおお お	1 点検 成果 2 防災施設 1 防災施設 が災資機材の消耗 防災無線機、向消耗 防災施設、倉庫(中 飲料水兼用耐震性	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使り 央防災倉庫、デ 貯水槽保守点検	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			度		公体記の	き冊けれ				R8 年度増減見込	性」の説明		
標・実施内	村部位 一 一 再等写放	票平面 おおお 事業実施内ののの食が	1 点検 成果 2 防災施設 1 防災施設 が災資機材の消耗 防災無線機、向消耗 防災施設、倉庫(中 飲料水兼用耐震性	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使り 央防災倉庫、デ 貯水槽保守点検	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			度	害に備え、防	災施設の領	管理は、				R8 年度増減見込み	性」の説明		
標・実施内	村言化 三三二字写为了	票平面 おおお 事業実施内ののの食が	1 点検 成果 2 防災施設 1 防災施設 が災資機材の消耗 防災無線機、向消耗 防災施設、倉庫(中 飲料水兼用耐震性	数 品費、燃料費、修 無線等の電気使り 央防災倉庫、デ 貯水槽保守点検	の 箇 2 所 を を を 所 を を に を に に に に が に り に り に り に り に り に り に り に	0 0 26.0 26.0 1 7 地料、通信料	14,484.0 0.2%	D 26.0 D C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	26.0%	D	26.0% D			度		災施設の領	管理は、				R8 年度増減見込み	性」の説明		

日本		1	エンー「 第合計区分		投会計 担	当課 危	 機管理課	担当係		重点事業			• 4	公用車1台の維持管	管理費及	び燃料費を支出	した。		・なし			
### 2 보고 1 ## 1 1 1 1 1 1 1 1 1								担当床		里 从尹未												
## 1 原子の企業があたらいます。 19	КЭ										_											
現場 一次の		基	基本目標 ————	4 快i	商な環境で安心 	して暮らせるまた	5															
### 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			政策	1 防ジ	炎力を高めるま ち	5づくり																
변경 등			施策	1 災害	害に強いまちを?	つくります						事										
A								防災対策車両(キャ	ラバン)の燃料費、点	(検に要する経費		業	成					課				
## 1			適切な維施と防災	持官理を 力の向上	けい、防災対束 を図る。	事業の女宝から	7円消な美						未					超				
## Para	総本																					
## 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							-				Н											
1	■┃概	業									E											
### 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	女	0)									K											
1											評					各評価	結果				総合判定評価	価
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												評	事	業コスト評価		指標評価		事業内容	評価			.,
1												1四 分	.	一般財源	-	1 B	į	 評価視点	評価内容	B 事業	の進め方の改善	善の検討
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本												析	算一	27.2%	果						P7年度の方向	5 性
接換 19.3		+	まか 丁百	В	車業釆早			車業夕粉	:			総	前	υ	**					コフト		
接換 19.3		予				公用車管理費	(危機管理課・		•			合	比一		率	-		7.100	に近い状態⇔「計			
接換 1938년 1948년 1948년		31			R5年度				区出金 地方債 その	の他 一般財源		判定	+ 5		るよう、適	切な維持管理を			画通り」	210	0 7 111	
接換 1938년 1948년 1948년		円	20	7,000	148,000	△ 59,000		为訳 0	0 0	0 148,0	00	評	当									
横型								_				価	評価									
接換								o /r/r			Ŧ		,,,,,			-m 8= 1 - 1	1- 1 -7-7	호 L #L 호 - L - Z - J		al.		
***													•適切た	維持管理を実施す	する。		可する改善:	条と想定されるが	:果及ひ写伎の方向!!	<u>±</u>		
# 2											0 T	加	~		, 00							
# 2								_			1 0	る										
# 2	.		国	庫支出金) (0	0 04 共済費	0 19 扶助	費	0 N	変ル										
日本の機・		決	1 財 ──		() (0					16										
1		算	源 -) (0				0 =		+4	-= I		****			± *	W. 7. T.		
新年比較			訳		70.66) 50.93	7 76 12				0						/\ F	田市管理弗/各地		業名称		
職員人件費							_				0				•					地方債	その他	一般財源
接事業二大 147.862 123.827 92.128 11 使務費	析										0											
Re					147,662	123,82	7 92,12				0								下			_ I
財			前年	比較	224.3% D	83.9% A	74.4% A	12 委託料			0			・修繕質の文出	i				期 実			
15 原材料費	С		主							費	0		R6 年 月	ξ					施			
中国の点接を実施し安全性を確保することができた。			財 源						<u> </u>	76.1	20		度	<u> </u>					容			
下		\vdash	車両の点	検を実施	し安全性を確保	することができた	<u>t</u>	15 原材料質	U Dail	76,1	28		室	7					変 更			
下	K					, ===													見			
本学指標・評価	部 価	 									Р								込 み			
中華指標・評価		分析									A	実		計画額 前	年増減額	前年比		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
指標		"									N Ho	行計	<u> </u>			00 88.9	% 内訳	0		0	C	192,00
指標					事業指標		# / □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				- 4X	画										
指標 抗果 防災対策車両の点検回数 回 1.0				指	標名						組組み	事業							度			
			成果			-													較			
指標			1	防災対策 	^良 車両の点検回	数 回 —			+										増			
指標 2		価	成果			(0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	実	J	3	E					要			
Paramode Paramod	指揮								100.5	1055	施		B7 点	<u> </u>					因			
大 · 燃料費の支出 · 修繕料の支出 · 修繕料の支出 · 修繕料の支出 · 修繕料の支出 · 修繕料の支出 · 修			列率 1	防災対策 維持管理	€車両(キャラバ 里率	ン)の % 10		0.0 0.0	+				年	7								
	実			 D支出	_ ·		. ,	1	31.0%	71.5% L									度			
	内		・修繕料の	の支出															増			
美 実施 施 内 容	容	1 -																	見			
施内内 事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 で災害時及び防災活動に必要なため、継続して維持管理を実施していく必要がある。		業実																	ひ み			
・災害時及び防災活動に必要なため、継続して維持管理を実施していく必要がある。		施														事業の	目的と宝が	内容との関連性	 「有効性と妥当性 I <i>の</i>)説明		
		容											- 5	災害時及び防災活	動に必要					. 11/0 / 3		

対象	東年度	事業	美会計区分	一般:	会計 担当	i課 fi	5機管理課	#	担当係				重点事	業				月25日に水防						・異常気象により				り、水防団員
	R5			水防団活動																	ĭ災ステーション 対124人 (R4∶₹			を確保し、地域の	との連携が必	少要である。	0	
			本目標		な環境で安心して	て暮らせるま	<u> </u>								1		- 7k	防団出動に値	係る報付	賞費を支出	した。							
			政策		力を高めるまちつ													雨洪水警報			94人•1回出動	J (R4:1	37人•1回					
							ルナ 図 ロナ										事	u)					事					
			施策		防災組織の体制 及び連携強化を				水陆田山	動に依る却	これ ひょくぶつ	通弗 水宝	言対策に必	更か各機	事	事 :	業						業					
			事業により	リ、水防団の)活動支援や水[防訓練を実施			材の購入	別に下る刊	団川及い又	应 良、小百	57) 米(~20)	女は見阪	7	F 1	果						題					
総	体		で、水防体	制の強化	を図る。取り組む	· .																						
合	体系・														С													
計画	概要	事						事							E													
	要	業の						の							C													
		目的						概							評						各評価結	 果				総合	合判定評価	
															価		 事第	<u></u> ニスト評価	Б	 指標	標評価		事業内容	 評価				
															伯子			一般財源			В		平価視点	評価内容	В	事業の進	め方の改善	の検討
															5. 村		グ	3.5% D		成 2			4:高い	A現状維持		D7年	■度の方向性	#
			款 項	В	事業番号					事業名称							HI]	事業コスト	D			有効性	4. 享()	計画の進捗と成	果コス			
		予算	秋 頃 9 1	4		水防団活動費 水防団活動費	ŧ			于木口が					4	<u>/</u>	H W	事 来コスト 9.1% D		効 1 率		必要性	T. [B] U	に近い状態⇔「 画通り」	計 改善		<u> ↑</u> ↓	
			R4年B	-		年増減	前年比	財源	源 国庫支	出金 県支	出金地	方債 その	の他 一	般財源	半	総合判官平	・台	風の影響に。	より、延	期し規模網	ロート 宿小を縮小して	の開催と	なったが、水防団					· — · · · · ·
		用」	954	1,000	3,900,000 2	2,946,000	408.8		****		0,000	0		3,881,000	i i	平	担 · 台 当 評	風2号への対	付応とし	、て、94名 <i>の</i>	水防団員が出	当動し活動	切した。					
															记	# <u> </u>	評 価											
			项 予算		R3年度 968,000	R4年度 954,00		年度 900,000		*	事業5 	費内訳 	節	決算額							理 増 に かっ	トスみ美質	案と想定される成	甲乃バ会後のは	5向性			
			決算		469,238	949,37			01 報酬			16 公有!	•	人并积 0	A C	_ -	消防本	部と連携し、	水防力	強化のため			く必要がある。	未及00万级007g) I+] IX			
			不用		498,762	4,62			02 給料			17 備品		0	ー リ	[] [
			執行		48.5%	99.5	i%		03 職員		0	18 負担金、		0	- I O N A	5												
	事			支出金	0		0		04 共済		0	19 扶助		0	N 当	之 ヒ												
	業	決	Ⅰ 財 ——	支出金	88,000	84,00	00		05 災害 06 恩給及			20 貸付	* 金 哺填及び賠償金	0	改 善													
	コス	算	内。	その他	0		0 1		00 恐間2			22 償還金、		0			款	項	目		事業番号				事業名称			
	 	角」	訳	般財源	381,238	865,37	75 1,2	242,035	08 旅費		18,800	23 投資	及び出資金	0			9	1	4		100000	水防	5団活動費					
	分析			年比較		227.0% D			09 交際			24 積立		0				予算額		増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	- 7	その他	一般財源
			職員人 総事業		282,000 751,238	1,236,37			10 需用			25 寄附26 公課		0				3,147,000		、753,000 及び交通系	80.7%	内訳	0	0 下		0	0	3,147,000
			前年	-		164.6% D	_		12 委託			27 繰出		0				•水防資機	材購入	.(水防団用	雨合羽)			期				
С									13 使用料		0	予備		0			R6 年 実	・土のう用	砂の原	ルー必安なが 材料費	圣費(消耗品費	()		実施施				
Н				•津波交付	金				14 工事		0						度 施							内容				
E				1計 起 型 (1)	改定があったこと	しょうこ キロエルジ	患がか守っ		15 原材		72,930	合計		1,457,035			内容							変				
K				1 実力学区的前のプ	以たかめつにこ	この、O、羊区自州1	貝小以上の	G1112120	め、秘事未	・コヘトも追	imucie.													見見				
評価		スト													Р									込 み				
,		分析													A 身	Ę –		計画額	前年	増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	7	その他	一般財源
	┡					(N 行取 言			6,366,000		3,219,000	202.3%	内訳	0	99,000		0	0	6,267,000
					事業指標・語		現状値 [目標値	R3年 目標値	+皮 実績値	R4 目標値	年度 実績値	R5年 目標値	+皮 実績値	り 退	<u> </u>		·水防団出 ·水防資機	材購入	.(水防団用	雨合羽)			R6 年				
				指標	名				達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	組み第			・水防訓練・土のう用			圣費(消耗品費	()		度 比				
		指煙	成果	水防訓練の	の実施	<u> </u>	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0										較				
		標評	1	/ アルリー・ハー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・スト	· 大心		1	7	100.0%	В	100.0%	В	100.0%	В	D F									増減				
	+15	価	成果				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実		実施							要因因				
	指標		2 効率	水防闭活	動に係る経費の=	コス 。 1	-	100.0	971.0	74.0	0.0	202.0	0.0	149.0	施		施 77 内											
	実		1	トの現状維		- % - ·	1	7	7.6%	E							年 容							R8 年				
	施		·水防団出		、 防団員用雨合羽	羽等)																		度				
	内容	=	・土のう用																					減				
		業																						込				
		実施																						み				
		内容															• 7k	害に備えった	、防団:	5動を継続	事業の目して実施してい		内容との関連性 必要である。	有効性と妥当性	生」の説明			
																				,00			-:					

象年月	要 事	業会計	一 	会計 担当	当課 危棚	機管理課	担当係		重点事業 〇					C市主催σ)研修会を4回開	開催し、 防災		・想定される大規模			
R5	<u> </u>	事業名		組織事業	70 %	,	2			1		上を図 〇市主	E催					めに、防災指導員の	の育成をしてし	いく必要がある。	
		基本目			て 草 こ 井 2 士 ナ					-			回 年間活動 ³ (参加者23名)		指導員の役割	. わが家の	マイタイム				
						1				_		•第2回	回 家庭内及び	ゾ地域DIG	の作成(参加者						
		政策	1 防災	(力を高めるまち	づくり 						事	1- t/ 0.4		を、サイポス	ス見方・土砂災	害・ペット防	災講座(参 - 事				
		施策	2 自主	防災組織の体制	削及び連携強化	を図ります				事	業業	•第4回	回次年度の『	防災指導員	へつなげる意	見交換会(参加者20 業				
		自主総事	医防災組織の体質	制及び連携強化 防災会を対象と	を図るため、自治	主防災組	防災指導員の活動 地区防災連絡会運	こ要する報償費、消耗 計補助金	ŧ品、備品の購入	当	€ 成 果	名)					課題				
,,				が			地区防火连桁去连	5 7冊 6万 亚			*						KSE .				
体系										С											
-		F				.				Н											
概要	<u>[</u> 事					事業				E											
女	σ. Ε	0				の概				C K											
	的					要				評					各評価	結果				総合判定評	西
										価しい	¥ 🗀	事業コ	スト評価		指標評価		事業内容詞	·····································			
										付かり		一 般	投財源	-	1 B		評価視点	 評価内容	━ B 事業	の進め方の改	善の検討
										札	f 算	106.0	0% D	成	2	効率性		A 現状維持		R7年度の方向	1件
+	+	_ 款	項目	事業番号			事業名称			· ·	' 前 & 年		プァレ D 業コスト		1	有効性		計画の進捗と成果	コスト		t果 維持
	子雀	۶ 🗀	1 5	1100000	自主防災組織署	 事業費	事未 有你				比比	11.0. 1. 2	2% D	効 率		必要性	4.同0	に近い状態⇔「計 画通り」	改善		の進め方
	7	* F					清 国庫支出金 県支	出金 地方債 その	の他 一般財源	- # - #		• R‡ 555 ±		年度31人	中3名が新任と			画通り」 C防災知識を習得し			
	戶	<u> </u>	1,676,000	1,726,000	50,000		1訳 0 19	0 000,1	0 1,535,000		2 担 平 当 西 評										
	Ľ									1 位	5 評 価										
			項目	R3年度	R4年度	R5年度	Arrier	事業費内訳							-m 8= 1 - 1		5 1 + 5 + 6 + 7 +	877°A440+4	- h4		
				994,000 826,263	1,676,000 1,264,821		節 01 報酬	17 1 H2C	節 決算額 財産購入費 (A C	- R/n	: 災 指 道 晶	昌研修や訓練	を充実さ				果及び今後の方向 D防災力を強化する			
			 不用額	167,737	411,179		02 給料	0 17 備品				J(11147)	SCISION BUILDING		- (-0-20-0)	, ,			•		
			 執行率	83.1%			03 職員手当等	0 18 負担金			5										
			国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0 19 扶助		N 3	50 版 \J										
事業	· [] 法	山財	県支出金	36,000	159,000	187,000	05 災害補償費	0 20 貸付	金 (改											
⊐	9	算 源	地方債	0	0		06 恩給及び退職年金	0 21 補償、		普		+4	- -		****				- ALL 5- TL		
スト	` 后	· 内 訳	その他	790,263	1,105,821		07 報償費 08 旅費	736,000 22 償還金 0 23 投資				款 9	項 1	5	事業番号	卢 =	主防災組織事業費		業名称		
分	: -	٦	前年比較	89.1% A	139.9% D			0 23 積立					算額 前	了 [年増減額		財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財
析		J	職員人件費	1,155,000			10 需用費	16,500 25 寄附					2,499,000	773,0			0	484,000	0	(2,015
		ź	総事業コスト	1,981,263	2,375,821	2,760,930	11 役務費	50,080 26 公課					D+巛+比诺 므 。				1.788	下			
		, ,					12 委託料	0 27 繰出	金				防災指導貝へ 防災指導員 <i>の</i>	への謝礼、 ハ活動に召	会議及び研修の	D日当(31) 記録 3 巻	ヘガ)				
			前年比較	188.9% D	119.9% D	116.2% D			- ##		Pe		防災指導員 σ	D活動に件	会議及び研修の う消耗品費、備 補助金の支給	品購入費	\ \ T)	期			
			地雷 油油料	188.9% D 等減災交付金	119.9% D		13 使用料及び賃借料	0 予備	費		R6 年	•	防災指導員 σ	D活動に件	う消耗品費、備	品購入費	ヘガ)	期 実 施			
			地雷 油油料		119.9% D		13 使用料及び賃借料 14 工事請負費	0			R6 年 度	· · · 実 施	防災指導員 σ	D活動に件	う消耗品費、備	品購入費	ヘガ)	期実施内容			
		主財源	地震•津波対策			187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0	1,358,930		R6 年 度	•	防災指導員 σ	D活動に件	う消耗品費、備	品購入費	ヘガ)	期実施内容変更			
	= 7	主財源前年	地震•津波対策	货等減災交付金		187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0			R6 年 度	宇施内	防災指導員 σ	D活動に件	う消耗品費、備	品購入費	ヘガ)	期実施内容変更			
	スト	主財源前年	地震•津波対策	货等減災交付金		187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0		PL	R6 年度	実施内容	防災指導員の地区防災連絡	D活動に併 各会運営費	う消耗品費、備格・	品購入費		期実施内容変更見込み			
ī		主財源が年	地震•津波対策	货等減災交付金		187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0		P L A 写	年度	実施内容計	防災指導員 <i>の</i> 地区防災連絡	D活動に供 各会運営費 「年増減額	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比	活品購入費 財源	国庫支出金	期実施内容変更見込み出金	地方債	その他	
ž	スト分	主財源が年	地震•津波対策	き等減災交付金 	かたことにより総立	187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。	0 合計	1,358,930	P L A N 河	年度 年度 1	実施内容計	防災指導員の地区防災連絡 地区防災連絡 前,730,000 防災指導員へ	D活動に付 各会運営費 「年増減額 △ 769,00 への謝礼、	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 00 69.2 会議及び研修の	財源、内田当(31)	国庫支出金	期 実施内容変更見込み 支出金 217,000	地方債	その他(
ž	スト分	主財源が年	地震・津波対策	等減災交付金 +費が増額となっ 事業指標・	たことにより総引	187,000	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0		PLAN取り	年度	実施内容 計1	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期 実施 内容変更 見込み 東 支出金 217,000 R6 年	地方債	その他(
ž	スト分	主財源が年	地震・津波対策	き等減災交付金 	たことにより総書	187,000事業コストも増落	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。	0 0 合計 R4年度	1,358,930 R5年度	P L A N 河	年度	実施内容 計1	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 00 69.2 会議及び研修の	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支出7,000 R6 年度比	地方債	その他	
ž	スト分析	主財源年	地震・津波対策	等減災交付金井費が増額となっ	oたことにより総立 評価 単 現れ 在 4	187,000 事業コストも増名 <u> </u>	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0	PLAN取り組み・	年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	実施内容 計1	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支	地方債	その他(
ž	スト分析 指標評	主財源年	地震・津波対策 ・建設対策 ・産と比べて人作 指標 な果 が災指導	等減災交付金 +費が増額となっ 事業指標・	かたことにより総事 評価 単 現れ 位 年 4.	ま業コストも増を 大値 目標値 度 年度 .0 4.0 1 7	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B	PLAN取り組み・DO 写べ言画写第一戶	年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	実施内容 計 1	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 保 年度比較増減	地方債 0	その他(
	スト分析 指標評価	主財源年	地震・津波対策	等減災交付金井費が増額となっ	評価 単 現地 位 年 回 4.	大値 目標値 :度 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 県 全 217,000	地方債	その他(
i	スト分析 指標評価	主財源が一番票平面の成立を表現である。	地震・津波対策 ・建設対策 ・度と比べて人作 指導 対果 1 対果 2	等減災交付金 井費が増額となっ 事業指標・ 標名 員研修会の実施	評価 現れ 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ま業コストも増を 大値 目標値 度 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B	PLAN取り組み・DO 写べ言画写第一戶	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 古 217,000 保 6年度比較増減要因	地方債	その他(
指標•	スト分析 指標評価	主財源が前には、一方所には悪平面には、一方所には、一方のでは	地震・津波対象 を度と比べて人作 指 な果 防災指導 は果 2 防災指導 は果 2	等減災交付金 井費が増額となっ 事業指標・ 標名 員研修会の実施	評価 現状 4. 0. (thick thin thin thin thin thin thin thin thin	大値 目標値 :度 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 .0 0.0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 県 217,000 R6年度比較増減要因 R8年	地方債	その他(
指標・実施	スト分析 指標評価	主財源前は「は、一大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地震・津波対射 ・建設対射 を関わる を関しる を関わる を を を を を を を を を を を を を	を等減災交付金 井費が増額となっ 事業指標・ 標名 員研修会の実施 員活動の現状網 対礼、会議及び研	評価 現状 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 県 217,000 R6年度比較増減要因 R8年	地方債	その他(
指標・実施内	スト分析 指標評価	主財源前の「お子」「お子」「お子」「は悪平面」である。	地震・津波対射 ・建波対射 ・	等減災交付金 井費が増額となっ 事業指標・ 標名 員研修会の実施	評価 単 現状 位 年 の (31人 接話品費、備品類	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 全 217,000 R6年度比較増減要因 R8年度増減	地方債	その他(
指標・実施	スト分析 指標評価 ――	主財源前の「お子」「お子」「お子」「は悪平面」である。	地震・津波対射 ・建波対射 ・	事業指標・ 標名 員研修会の実施 過過が見がいる。 過過がある。 過過である。 過過で。 過過で。 過過で。	評価 単 現状 位 年 の (31人 接話品費、備品類	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 全 217,000 R6年度比較増減要因 R8年度増減見	地方債 0	その他(
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	スト分析 指標評価 事業実	主財源前は「「大き」は、「大き、「大き」は、「大き」は、「大き」は、「大き」は、「大き」は、「大き」は、「大き」は、「大き、「大き、「大き」は、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き	地震・津波対射 ・建波対射 ・	事業指標・ 標名 員研修会の実施 過過が見がいる。 過過がある。 過過である。 過過で。 過過で。 過過で。	評価 単 現状 位 年 の (31人 接話品費、備品類	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写べ言画写第一覧	年度	実施内容 計 1・・・・	画額 前,730,000 防災指導員の防災指導員の防災指導員の防災指導員の	D活動に付 各会運営 (年増減額 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	う消耗品費、備 補助金の支給 前年比 の 69.2 会議及び研修の う消耗品費、備	計品購入費 財源 内別 日当(31) 計品購入費	国庫支出金	期実施内容変更見込み 支 217,000 全 217,000 R6年度比較増減要因 R8年度増減	地方債	その他(
指標・実施内	スト分析 指標評価 事業実施内	主財源前は「一大」は悪平面は「一大」を表にある。 は、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、	地震・津波対射 ・建波対射 ・	事業指標・ 標名 員研修会の実施 過過が見がいる。 過過がある。 過過である。 過過で。 過過で。 過過で。	評価 単 現状 位 年 の (31人 接話品費、備品類	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一覧	年度	実施内容 計 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	断炎 前	DAS (年本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (前年比 の 69.2 会議及品の支給 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	清品購 財内(3) 財内(3) 計品購入 ション に対しています。 は、は、も、は、も、は、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も	国庫支出金 0人分)	期実施内容変更見込み 支 217,000 金 217,000 保 年度比較増減要因 R8年度増減見込み 性と 当 当 当 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の 説明		一般財
指標・実施内	スト分析 指標評価 事業実施	主財源前は「一大」は悪平面は「一大」を表にある。 は、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、	地震・津波対射 ・建波対射 ・	事業指標・ 標名 員研修会の実施 過過が見がいる。 過過がある。 過過である。 過過で。 過過で。 過過で。	評価 単 現状 位 年 の (31人 接話品費、備品類	大値 目標値 接 年度 .0 4.0 1 7 .0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 額となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 5.0 125.0% A 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 4.0 4.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一覧	年度		断災区防災 画 730,000	の各会 「年 Δ 769,0」 「年 Δ 769,0」 「大材を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を生物を	京消耗品の 前年比 00 69.2 会議及品の 会消耗金の 支給 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	清品 財内(3) 日 財内(3) 日 財内(3) 子 関 の 日 財内(3) 子 関 の 日 財 の 日 日 財 の 日 日 財 の 日 財 の 日 財 の 日 財 の 日 財 の 日 財 の 日 日 日 日	国庫支出金 0人分)	期実施内容変更見込み 支 217,000 金 217,000 会 217,000 とるためでである。	の 説明		

	全年度		会計区分	—————————————————————————————————————	会計 担当	課 危	機管理課	担当係				重点事業						ミアドバイザーで						ンて、自助の備蓄や	
	R5			女性の防災		70	100 11 - 1101	2_4//										もらうための興 ^に 持って活動した				ついて、女性	目線での防災対	策を推進する必要な	がある。
'	Λ3															文化	会館アエル	ホールで実施。		11 70772	271 - (2/07/1				
		基	本目標	4 快適な	は環境で安心して	て暮らせるまち	5									-参刀	1総数 22/	名(男性166名、	女性61名)						
			政策	1 防災2	りを高めるまちて	づくり									_	_									
			施策	3 市民(の防災意識の高	揚を図ります								事	哥						事業				
			市民の防	災意識の高	揚を図るため、	女性の防災啓	発事業に		での防災対	対策を推進	するため『	5災講演会を	開催す	業	[]						課題				
			より、女性 域防災力(か防災活曳 の向上を図	かに参画すること る。	:の里安性を周	5知し、地	る。							3	表					起				
総	体 系 •																								
合	术•													C H											
計画	概要	事業					= =	事 * *						E											
	安	業の口					0	Ď						C											
		目的					林							評					各評価約	吉果				総合判定評価	Б
														価┃評		事業	———— コスト評価	i 指	 6標評価		事業内容	 \$評価	_	 	`# # 7 -
														価		1					評価視点	評価内容	A vz	├画どおりに事業をシ ┋当	進めることか
														分 析	う	<u></u>	般財源	成 果	1 B				1		
															自	íj <u>55</u>	.5% A	В	2	効率性		A 現状維持		R7年度の方向	
		予	款 項		事業番号	, la - al /// =/-	- 74		事業名称					総合	: 左 · 上	· ////	業コスト	効	1 E	有効性		計画の進捗と -に近い状態⇔	· 「≣+		
		算	9 1	-		女性の防災啓		R. 日度	支出金 県支	· ш 🛧 нь-	+ ま こ/	の他 一般	8+ 3年	総合判定評価	ŀ	103	8.6% D	率	食に関する講習	必要性		画通り」	改善改善	①事業の 学ぶことができた。	り進め万
		闬	R4年月	支 R: 7.000		手増減 公 89,000		財源 ^{国庫} 内訳		0,000			96,000	定	担	日	すり・シップ開ク	1次00火占时07	及に関する時点	ж х с , х ,	心し、久 注の 抗点	17.9元/ごり火/	ロシリンクスクラで・	+3.CC3.CC7.	
)	007	7,000	340,000	2 03,000	80.0%		0 0	0,000	0 23	2,000	30,000	価		ョ 平									
			項	目	R3年度	R4年度	R5年度			事業領	費内訳				ſī	西									
			予算	拿額	362,000	637,000	548,0	00	節	決算額	í	ı ب	 學額	Α					課題に対	する改善	案と想定される原	ず果及び今後の	方向性		
			決算	拿額	341,774	634,688	528,4	08 01 報酬	H	0	16 公有	財産購入費		C 加	<u> </u>	防災女子	チームにて	検討した内容を	を反映させ、多く	の女性が	「参画しやすい斑	環境づくりを進め	ていく。		
			不月		20,226	2,312		92 02 給料			17 備品		0	. え											
			執行		94.4%	99.6%		4% 03 職員		0	18 負担金		0	IONかる変化											
	事		IB	支出金	0	20,163		0 04 共済 00 05 災害		0	19 扶助		0	N 改 化											
	業	決	財 ―――	也方債	0	11,000	00,0	0 06 恩給				埔填及び賠償金		善善											
	コス	算用	内	その他	253,000	300,000	300,0	00 07 報償			22 償還金		0		t	款	項	目	事業番号				事業名称		
	+	円」	訳	般財源	88,774	303,525	5 168,4	08 08 旅費	t	0	23 投資	及び出資金	0			9	1	5	1500000	女忙	生の防災啓発事	業費			
	分析]	前	年比較	2974.0% D	341.9% D	55.5%	4 09 交際	養	0	24 積立	:金	0			3	予算額	前年増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人		441,000	396,000		00 10 需用			25 寄附		0				161,000	△ 387,000				0	0	0 106,000	55,000
			総事業	_	782,774	1,030,688		08 11 役務			26 公課		0					クショップを開催 :9~11月の間				下 期			
			前年		1552.7% D 崔事業補助金	131./% D		D 12 委託 00 13 使用:			27 繰出		0		R	26	(対象をな	て性向けとする)				実施			
С			エ	·津波交付:				00 13 皮/// 00 14 工事		0	1, NH	ĮĄ.	-		生	军 実 度 施						内			
E			源	7+11/2/17	<u></u>		33,3	15 原杉		0	合計		28,408		月	内						容			
C				ストは微増て	であったが、アン [・]	ケートの実施・	や職場内での	女性防災会	を作って会	議を開催し	たため、ノ	人件費が増額	となっ			容						更			
K 評		コス	<i>T</i> = 。											D								見			
価		۲												L	L							み			
		分析												A 実		Ī	十画額	前年増減額	前年比	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	\vdash				事業指標•詞	亚布		D3	年度	D/I	年度	R5年原	+	N │行 取 │計			986,000	825,000 クショップを開催			· ·	0	U	0 300,000	686,000
							状値 目標値			目標値			2. (主 / 士	り画	i		開催内容	:9~11月の間	で菊川・小笠地			R6 年			
				指標	名		F度 年度		評価	達成率	評価			組 事み 業			(対象を3	(性向けとする)				度比比			
		指	成果	女性のため	の防災講演会の	න _ල 1	1.0 1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									較			
		標評	1	開催		Щ	1 7	100.0%	В	100.0%	В	100.0%	в	D 用								増減			
		価	成果				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実		実						要			
	指標		2				0 0		45.0	1100	01.0	1100		施	_R	施 施7 内						因			
			効率 1	講演会への	O参加者数	ㅅ ├-''	10.0 110.0	3.0 1500.0%	45.0 S	110.0 55.5%	61.0 E	110.0 71.8%	79.0 F		ź	容 耳						R8			
	実施		·講演会を	- ∵開催するた	めの報償費、旅	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	会場使用料	1000.070	0	00.070		71.0%			月	- 英						年			
	内			令和5年5月	月13日(土) 館アエル大ホー	بال																増減			
	容	事	講 師: 4	今泉 マユチ	2																	見			
		業実	内容:	災害への値	請え~食と防災∼	~]																込 み			
		施																	車業の日	3 的レ宝성	西内容との関連性		4件1の詳明		
		内容														•防災	その分野に	女性が参加しや						て実施していことに	は重要である。

対象年				会計 担論	当課 危	 .機管理課	担当係			重点事業			- 防	災士講師譲	礼 72,000円	(12回×	2名/回)(R	(4:9回)	・第3回のワークシ	ィョップは当初	屋外で開催予定で	であったが、熱
						人俄官理話	担目徐			里尽争未			• 親·	子防災ワー					中症が心配された期や時間を考慮し	ため、屋内開	催に変更した。今	
R5		事業									4 1		8,	月2日(水)	「ダンボールシ	シェルター	ー作りに挑戦」	」12組25名	対で時间を有慮し	/こり合い代記	か必安でめる。	
		基本目	目標 4 快適	な環境で安心し	て暮らせるまた	5							8,	月11日(金・	祝)「防災アウ	ウトドア領	析」8組28名					
		政领	策 1 防災	力を高めるまち	づくり								_									
		施領	策 3 市民	の防災意識の高	高揚を図ります	•					7	事	事業						事業			
			民の防災意識の				市民が防災に関する	る知識を習	得するため	. 防災ワークショッ		業	成						課題			
		会等	から子供まで、誰 等を開催し、防災	もか気軽に参加 に関する知識を	できるイベント ·高め、防災意詞	及び講演 識の向上を	プの開催及び啓発別 求められるHUG等	の防災講座	ルを配布す を菊川市防	る。また、地区かり が災士委員会へ依			果						超			
総	本 玄	図る	る。				頼するための謝礼。				С											
合計	•					+					Н											
画	体系・概要	争 業				章 業					E											
		の 目				の概					K _											
		的				要					評し						各評価結果				総合判定評価	15
											,,	评「	事業	コスト評値	5	指標評	価	事業内	内容評価	D = 4	tの坐り し の出き	¥∧₩₹
												/\ I	決 -	-般財源	成	1	s	評価視点	評価内容	B B 事	美の進め方の改善	苦の快討 こうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい
													決 <u>11</u>	2.5% D		2	效	」率性 4:高い	A 現状維持		R7年度の方向	 l性
		_ 款	7 項 目	事業番号									年 総	事業コスト	効	1	C 有	「効性 4:高い	計画の進捗と成界		縮小↓ 成:	果 維持→
		予 算 9		700000	防災啓発事業	養						合 		1.6% D	率		必	要性 4:高い	に近い状態⇔「計 	改善	①事業の	の進め方
			R4年度 F				財源 国庫支出金 県 支					総合判定評	担・更		増えてきてい のワークショッ		ぬ中症が心配:	される。				
		<u> </u>	564,000	591,000	27,000	104.8%	勺訳 0 1	0,000	0 300,	000 281,00	00	评 西	担 当 評	A PARTY C) / IG (17		C10-0°				
	F		 項目	R3年度	R4年度	R5年度		車業身	貴内訳		┨		価									
				1,433,000				決算額	節	決算額	į A	\dashv					課題に対する	改善案と想定され	る成果及び今後の方向	 可性		
			決算額	1,387,806	530,08	8 571,37	3 01 報酬	0	16 公有財			加	今後は	開催時期や	時間を考慮し							
			不用額	45,194	33,91		7 02 給料	0	17 備品則	構入費	0 T /	え										
		<u> </u>	執行率	96.8%			% 03 職員手当等		18 負担金、初		$\frac{0}{0}$	える変化										
	事		国庫支出金	445,000	`		0 04 共済費 0 05 災害補償費		19 扶助3		O 改	化										
		決財		0	,		0 05 欠合不順 負 0 06 恩給及び退職年金		20 頁 [1] 3		善善											
	コ	算一源内	その他	223,000	264,000	0 289,000	0 07 報償費	190,000	22 償還金、和	子及び割引料	0		款	項	目	事	業番号		=	事業名称		
			一般財源	719,806	,		3 08 旅費		23 投資及		0		9	1	5		00000	防災啓発事業費				
	分 折		前年比較	229.2% D					24 積立金		0			予算額	前年増減額			財源 国庫支出 内訳		地方債	その他	一般財源
			職員人件費 総事業コスト	840,000 2,227,806			0 10 需用費 3 11 役務費		25 寄附金 26 公課金		0			421,000 ・菊川市防	△ 170,0 5災士委員会へ			7 10/	0 0	•	193,000	228,000
			前年比較	492.9% D					27 繰出金		0			・講演会を	開催するため E時期:令和6	りに必要な	な経費		期			
С		主	地域セミナー開	催事業補助金		289,000	0 13 使用料及び賃借料	121,391	予備到	1	0		R6 年 実	会場:文	化会館アエル	,			実			
Н		財源	地震•津波対策	等減災交付金		10,000	0 14 工事請負費	0					度施	▶防災川村	『募集や記念品	品等に係	る経費		内			
E	-		、 年度から総事業=	フトけ微量とな			15 原材料費	0	合計	571,37	'3		内容						変			
K		⊐	牛及かり秘事未-	ストは減増でな	372.														見			
評価		スト									P								込 み			
Т		分析									A	実		計画額	前年増減額	預 前	前年比 月	財源 国庫支出		地方債	その他	一般財源
		171					_				N	行丨		920,000	499,0			为訳	0 102,000	(231,000	587,000
				事業指標			R3年度		年度	R5年度	取し	画		・菊川市の・講演会を	が大委員会へ 開催するため	への講座 クに必要フ	E謝礼 な経費		R6 年			
			指	票名		 	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 達成率		目標値実績値達成率評価	組み	事業							度			
		指	成果 防災ワー	 クショップの開催		18.0 30.0	10.0 48.0	30.0	84.0	30.0 107.0									比			
		標 評	加者数)			3 7	480.0% S	280.0%	S	356.7% S		到							増減			
			成果			0.0 0.0	1.0 0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	実	_	実						要			
	指標	ب	2 効率 防災士に	レフ (1) 26 /= マレラサ		0 0 5.0 15.0	0.0% D 30.0 48.0	15.0	9.0	15.0 12.0	施		施 R7 内						因			
	٠	,	効率 防災士に 1 の開催	よる出前行政講		5.0 15.0 1 7	160.0% S	60.0%	9.0 D	80.0% C			年容度						R8 年			
	実 - 施		川市防災士委員		řL	<u> </u>		1		<u> </u>			/2						度			
	内	* 親	見子防災ワークシ:	ョツノの用惟															増 減			
	容	事業																	見し			
		来 実 施																	み			
		内																				
		容											市县	に対し防災	(啓発をするこ	とは必要	要であるため、	アンケート調査結	果等によりニーズに合	った形式で実	をしていく必要が。	·ある。

対象年	F度	事業:	会計区分	一般的	会計 担当	当課 危機	幾管理課	担当係		重点事業	0			・9月3日に総合防災					・能登半島地震を受ける。		の更なる強化を	図るための訓
R5				防災訓練事										として地区防災連絡会 施した。					練を実施する必要	がある。		
			本目標			で暮らせるまち					-			・12月3日に地域防災 主防災会による訓練な	訓練におい	ては、12,085人 本部と避難所	人の方が参 運営委員会	参加した自 会が連携				
	_										_			した物資搬送訓練等を		T- 11 C X X X X X X X X X X X X X X X X X	CLXX.	Z 72 72 73				
	-		政策		力を高めるまち		L						事					事				
	_		施策			の参加を推進しま るため、防災訓練		訓练名加老为医療	救助者の事故に対す	ス /見 『全业』		事業	業成					** ** **				
			より、訓練	に掛かる諸	経費を支出し、	、訓練を円滑に乳	実施する	訓練参加有や医療を	秋助有の争成に 対す	る体膜が		未	果					題				
4/15	体		ことで、地 化を図る。		協力体制の確認	認や情報伝達体	は制の強															
	体 系 •										С											
計	椒	事					事				ΙE											
画		業の					業 の				C											
		目的					概				評					—————————————————————————————————————	果				総合判定評価	
		-									価	評		事業コスト評価	指桿	票評価		事業内容				
												価分		一般財源		В	=1		評価内容	B 事業	の進め方の改善	の検討
												分析	決算		成	В		I			D7.左连の士白+	
			+4 +=		市 米 平 口			市业 2 私			4		前年	95.5% B C			効率性 	4:高い	A 現状維持 計画の進捗と成果		R7年度の方向性	
		予	款 9 1		事業番号 1200000	防災訓練事業費		事業名称			-	合	比比	総事業コスト 116.6% D	効 1 率	E	有効性 必要性	4:高い 4:高い	に近い状態⇔「計 画通り」	コスト 改善	縮小↓ 成身 ①事業の	
		算 _	R4年原	_				讨源 国庫支出金 県支	出金 地方債 その	D他 一般財源	į	判定	+0	・実災害を想定した実		を実施できた。		4. [6]	囲通り]	W B	<u> </u>	<u> </u>
		用 し	272	2,000	206,000	△ 66,000	75.7% P	为訳 O	0 0	0 206,	000	総合判定評価	担当									
	_		_	_							_	曲	評価									
		-	項 予算		R3年度 221,000	R4年度 272,000	R5年度 206,00	0 節	事業費内訳 決算額 第	沙 算	好 .					理師にかっ	よる改善家	マレ相 宁され ろけ	果及び今後の方向	小 生		
		-	 決算		220,000	264,347	204,50		0 16 公有		A 0 C		·災害	デ対策本部における事	務分掌やマ							
			不月		1,000	7,653		0 02 給料	0 17 備品		0 T	ルル										
			執行		99.5%		99.3		0 18 負担金		0 0	える変化										
	事			支出金	0	46,255		0 04 共済費	0 19 扶助		0 N	多 化										
		決	Ŋ	支出金 也方債	0	4,000		0 05 災害補償費 0 06 恩給及び退職年金	0 20 貸付		o 0 i i i i											
	コトスト		内	その他	0	0		0 07 報償費	0 22 償還金、		0		款	攻 項 目	1	事業番号			事	業名称		
	-	用	訳	般財源	220,000	214,092	204,50	0 08 旅費	0 23 投資	及び出資金	0		9	1 5		1200000	防災	訓練事業費				
;	析	_		年比較	102.1% D	97.3% B		09 交際費	0 24 積立		0				F増減額	前年比	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		-	職員人		1,247,000 1,467,000	2,204,000 2,468,347	2,673,00	0 10 需用費 0 11 役務費	0 25 寄附 204,500 26 公課		0		-	216,000	10,000 災害補償等(104.9% 保険料	אפניו	0		0	0	216,000
			前年	-	680.7% D	168.3% D	116.6% D		0 27 繰出		0			·災害時医療救認 ·防災訓練等災害	镬者保険料				期実			
С			主					13 使用料及び賃借料	0 予備	費	0		R6 在	*訓練参加費	1 1 1 1 1 1 1 1				施			
Н			財源					14 工事請負費	0	201			年度	施内					内容			
E	_			外の事業費	は前年度と比べ	べ大差ないが、	 人件費が増額	15 原材料費 となっているため、総	■ 0 合計 事業コストも増額となっ	204,	500			容					変 更			
K		コス					111200 11120		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										見			
評価		-									P								込み			
		分析									A	実			F増減額	前年比	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
H					事業指標・	: 評価		R3年度	R4年度	R5年度	— 取	行計		342,000	126,000 災害補償等(158.3%	内訳	0	R6	0	0	342,000
		-				単現物	大値 目標値		目標値 実績値	目標値 実績	直細	画事		•災害時医療救討	護者保険料				年			
				指標	[[] 名	位年	度 年度	達成率 評価	達成率 評価	達成率 評価	りみ			•避難所運営訓絲					度 比			
		指標	成果	防災訓練の	D実施	回 2.0	0 2.0	2.0 1.0	2.0 2.0	2.0 2.0	_ D	闬							較 増			
		評し価	1 成果			0.0	0 0.0	50.0% E 0.0 0.0	100.0% B 0.0 0.0	100.0% B 0.0 0.0	0			_					減			
	指	Щ	2			0.5		0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	美 施			実 施 内					安			
7	標				川練(12月)の参	⇒加 人 14,31	18.0 15,750.0		15,750.0 7,968.0	15,750.0 12,085	5.0		R7 年	内容					R8			
	実 -		-	者数 劉練災実施	補償等保険料	1	1 7	0.0% E	50.6% E	76.7% E	_		年度						年			
	施内			療救護者															増			
	ᄷ	事																	減 見			
		業宝																	込み			
		実施														重業の日	的と宝施	内突との関連性	 「有効性と妥当性」	の最出		
		内 容												・地域の協力体制の確	雀認や情報の							

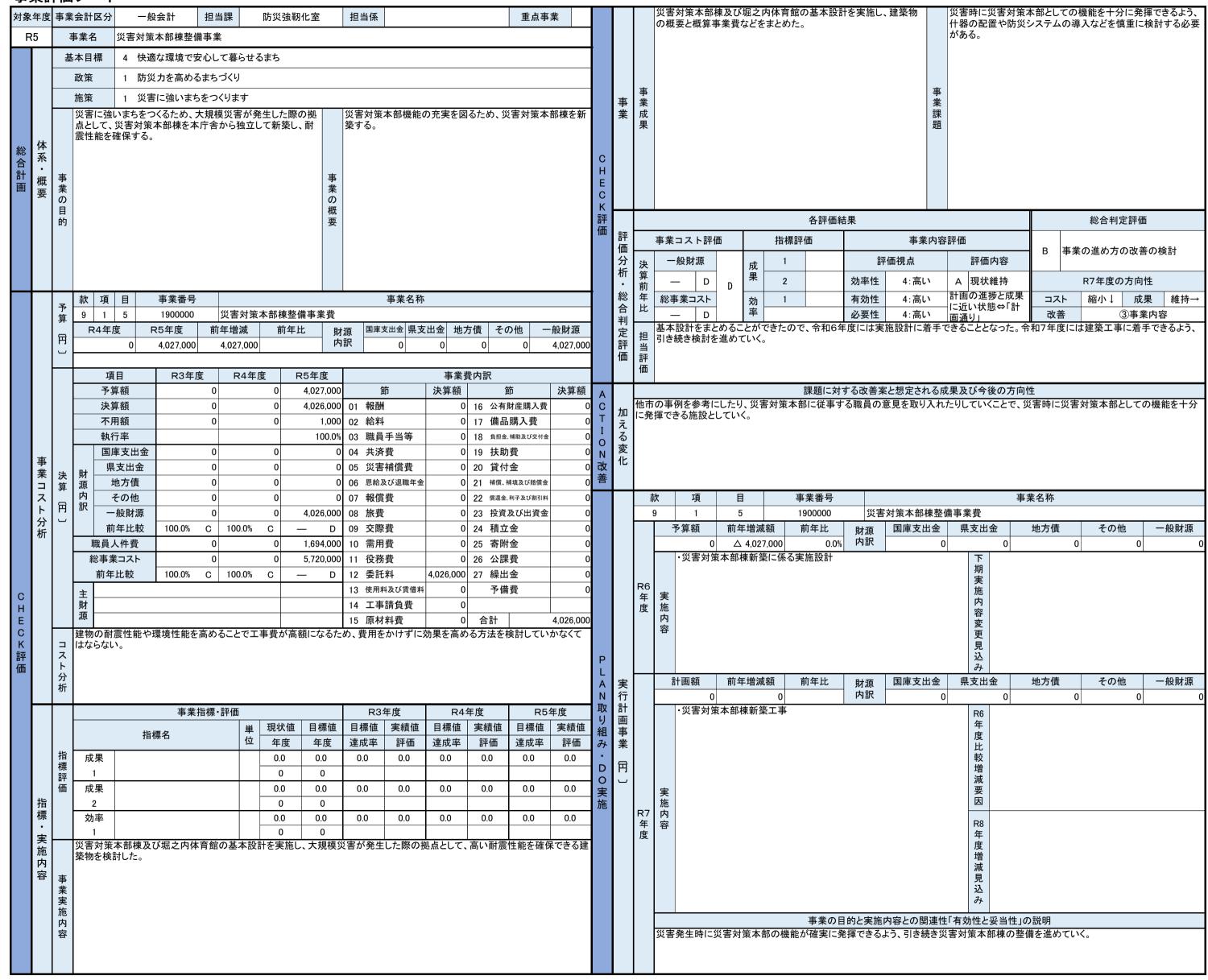
		-	一 	会計 排	旦当課	危機管	理課	担当係				重点事業				災害時等に値	使用する	タブレット	や携帯電話の	通信費の支	を払を行っ	・情報発信につい			
R5		事業		・避難体制対		701% [エ؊テス			†	:。 ふじのくに防	災情報共	も有システ	・ムを県と情報:	共有した。		る。ブッシュ型の「 あり、茶こちゃん>			
110						. 7 ++									-				参集安否確認		使用し	要がある。			
	F	基本		[な環境で安心		るまり									-	茶こちゃんメ			象情報や災害						
		政策	策 1 防災	(力を高めるま	ちづくり										事	fった。(R5年)	度登録者	皆数:7,79	7人 ← R4年	度登録者数					
		施统	策 5 避難	情報の適切な	は伝達と避難	維体制の強	食化を図りま	す						事	業			と収集する	るシステムを試	験的導入し					
		避	難情報の適切な何達・避難体制対策	云達と避難体質	制の強化を	図るため、	情報	県と防災				聞及び情報発	信の	業	成里)情報収集を	行つた。				課題				
	,	理	を行い、地震等の	災害に備えた	『報ンへ)』 :情報伝達∃	五機器の飛手段の確保	民及び		生能付り ②)/こ(()()/頁/	ਜ਼。				本						起				
総	体系・概要	(住)	民避難体制の円	滑化を図る。										3											
合 計	•	_					_						ì	Э Н											
画	既一	事 業 					業						ŀ	E											
		の 目					の概							K											
		的					要						言	平					各評価約	洁果				総合判定評価	西
													11	評	導	業コスト評	価	指	標評価		事業内容	字評価	計画	īどおりに事業を	・進めることが
														価分		一般財源		-	1 B	評		評価内容	A 適当		
														分 析		99.3% B		成 果	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R7年度の方向	7性
		_ 款	次「項」目	事業番号					事業名称					総	前	総事業コスト	C		1	有効性	4:高い	計画の進捗と成り			t果 維持一
		予 <u>***</u> 9		1300000	情報伝道	 奎•避難体制	制対策事業		7,7,11	-				合	比一	145.7% D		率	•	必要性	4:高い	- に近い状態⇔「計 画通り」	- 改善		の進め方
			R4年度 F	R5年度	前年増減	前年	,,,,	3 *****	支出金 県支	出金 地方	方債 その	の他 一般則	計源	総合判定評	坦.	県、市職員、	市民へ各	種シスラ	ムを使った情	報伝達を実	施することがて				
			3,621,000	3,863,000	242,000	0	106.7% 内	7話P	0	0	0 32	5,000 3,53	8,000	評	担当評										
	L									-t- alle -				価	評										
			項目 予算額	R3年度 3,347,0	R4年	E度 21,000	R5年度 3,863,000) (節	事業5 決算額	費内訳 	節決	算額						無問にみ	オスカ美塚	マレ相 宁され スロ	成果及び今後の方[台州		
				3,317,0		61,046		01 報酬	•	人并积 0		財産購入費		A	•SNS	5茶こちゃん	メールの	<u> </u>			等において周		비대		
			不用額	29,9		59,954		02 給料		0	17 備品		0	_ //											
			執行率	99.	1%	98.3%	98.3%	6 03 職員	手当等	0	18 負担金	、補助及び交付金	0	える変:											
	虫		国庫支出金		0	0		04 共済			19 扶助		0 1	1/-											
		決財			0	0		05 災害			20 貸付		0 0 1	汉 全											
	コース	算 源	地方債 予をの他		0	0		06 恩給20 07 報償			21 補償、1		0		款	項	目		事業番号			3	事業名称		
	-	計	一般財源	3,317,0	56 3,56	61,046		08 旅費			23 投資		0		9	1	5		1300000	情報			7.7.417		
	分 析	-	前年比較	62.1% A	107.4%	D 9	9.3% B	09 交際	費	0	24 積立	:金	0			予算額	前年:	増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人件費	210,0	_	47,000	1,896,000				25 寄附		0		l ⊦	5,705,000		1,842,000			(976,000	(9,000	4,720,00
			総事業コスト	3,527,0		08,046		11 役務			26 公課 27 繰出		0			・ ・ 職員参	いこ防災情 集安否確	育報共有∑ 『認システ	システム等の通 ・ム使用料	1信連搬貨		期			
			前年比較 ふるさと納税寄附金	42.4% /			45.7% D 261.000	12 委託					0		R6	- ※ 宝 仕 :	報配信シ 況収集シ		茶こちゃんメール i 田料	ル)使用料		実施			
C		主財	_				201,000	14 工事		0	3 1/13								催認時の報酬			内			
E		源	Ţ.					15 原材	料費	0	合計	3,79	7,310			内						容			
C			年度と比べて一般なった。	段財源は横ば	ハであるが、	、SNSによる	る情報収集	システムの	試験導入	を行ったり	したため、	人件費が大きく	増額			容						更見			
評		ر ا ا	<i>a >1</i> ≥ 0										F	-								込			
価		户 分												L	\vdash	 計画額	前在	 増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	 地方債	その他	一般財源
		折											ľ	A 実 N 行	1 1	4,596,000		1,109,000				0 0	(No. 1)		4,596,00
				事業指	票∙評価			R3	年度	R4	年度	R5年度	I	1 計画					システム等の通	值這搬費		R6			l
			指	標名	単				実績値	目標値				リ 祖 事		総合情	報配信シ	ステム(え	・ム使用料 茶こちゃんメール	ル)使用料		年			
					位	1 /2	年度	達成率	評価	達成率	評価			み 業			況収集シ バエムス被		相認時の報酬			比			
		漂	成果 情報伝達 使用料	機器の通信費	∄及び │ %	100.0	100.0	100.0	100.0 B	100.0%	100.0 B		0.0 B	· o 用			ころの政	くべながば	正 山心 4寸 マノ 千以 日川			較増			
		評	成果			0.0	0.0	100.0%	0.0	0.0	0.0			<u>2</u>		=						減			
	指標		2			0.0	0.0					,,,,		美 包		実 施 内						因			
	漂 •	:	効率			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		年	为 容						R8			
	実 -	. /-	1 対しット、携帯電影	迁 衞見電託	衛星インタ	0	0 信告								度							年			
	施内	• 暗	^戧 員参集安否確認	システム使用	料		10月															増			
	容		総合情報配信シス Nを活用し災害状況				的導入)															減り見り			
		<u>,</u> 業																				込み			
		実																	_ 	7441-41			· • = × = =		
		施																	事業の目	∃別と実施Ⅰ	内谷との関連性	生「有効性と妥当性	1(/) = 兄 山		
		内													-	県・市職員・7	市民へ情	報伝達					7 42 176-91		
																県∙市職員∙⋷	市民へ情	報伝達、			要な経費である		700.91		
		内														県∙市職員∙⋷	市民へ情	報伝達、					700001		

	年度		会計区分	一般:	会計 担当	当課 危棚		担当係			重点事業				• 庁内検討委員会初					・市民の原子力防	災に関する知	識を深める必要が	がある。
	R5					767)					エニアベ				·地区防災連絡会初 ·県原子力発電所理	見察 8人 環境安全1	協議会負担金 (3	34,500円)					
	10														•浜岡原子力発電所)				
		基	本目標		害対策の充実																		
			政策	2 浜岡/	原発への対応																		
			施策	1 静岡!		 対策							事		事 業				事 業				
						・調査等事業に		原子力に関する	各種研修会へ	の参加及	び負担金		業		《 成				課				
						加及び調査、啓 する知識の充実								-	具				題				
松公	体 系		週別に打	ノことで、原	丁刀例及に関	9 る加畝の元天	で図る。																
総合計	系												С										
計	概	事					事						E										
画	概要	業の					業 の						C										
		目					概						K 評	+			夕气压	4 田				<u> </u>	
		的					要						益 評	,			各評価	和未 				総合判定評価	
													価	i L	事業コスト評価		指標評価		事業内容	?評価 	B 事	業の進め方の改善	の検討
													分 析	: ;	决 一般財源	成	1 D	評价	西視点	評価内容			
													机		算 100.0% C C	果	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R7年度の方向	
			款 項	目	事業番号			事業	 名称						年総事業コスト	効	1 D	有効性	4:高い	計画の進捗と成り		縮小↓ 成	果拡充↑
		予質		10	100000	広報·調査等事	業費						合	` ·	比 34.0% A	率		必要性	4:高い	-に近い状態⇔「計 画通り」	改善改善	①事業の	進め方
		71	R4年	度 R	5年度 前	「年増減 前		2 11121	県支出金 地	方債 その	の他 一般	財源	総合判定評		計画していた視察	2回が実	施できた。						
		円〕	1,018	3,000	209,000	△ 809,000	20.5% P	0 可能	208,000	0	0	1,000	評価		当								
				_									11111		評								
			項		R3年度	R4年度	R5年度	<u> </u>		費内訳 	ote 2-	· 存在 中五		+			き用しても	+ナフルギ索!	し担ウナムファ	+田 ひが 今後の士	<u></u>		
			予算	早 額 草 額	67,000 67,000	1,018,000 1,014,520	209,000)	決算額	16 公有		算額	A C to	ŀ	危機管理ニュースや新	たな広報				以果及び今後の方[切な啓発を行う。	可性		
				手頭 用額	07,000	3,480		01 報酬		17 備品		0	_ <i>I</i> III	1		72.07ATK	,	C (///) /// //		37.0 L 30.2 L 3 3.			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100.0%			6 03 職員手当				89,500	I る										
	_		国原	車支出金	0	0	(04 共済費	(19 扶助	費	0	- I O N か										
	事業	決	県	支出金	67,000	1,014,520	115,040	05 災害補償	費 (20 貸付	·金	0	CX	;									
	КП	算	源	也方債	0	0	(06 恩給及び退	選年金 (21 補償、	補填及び賠償金	0	善										
	スト	闬	= ₽	その他	0	0	(07 報償費		22 償還金		0			款項	目	事業番号	-1-4-			事業名称		
	分	[]		般財源	0	0	100.0%	08 旅費		23 投資		0		L		10	100000		調査等事業費		业士生	7.014	60.04.05
	析			年比較 人件費	100.0% C 182,000	100.0% C 1,068,000	100.0% C 592,000			24 積立 25 寄附		0			予算額 前 1,370,000	が年増減額 1,161.			国庫支出金	県支出金 1,367,000	地方債	その他 0 0	一般財源 3,000
			総事業		249,000		·	11 役務費		26 公課		0				, ,	000 033.3 視察研修に係る約	, ,		下		0 0	3,000
				比較	391.9% D	836.4% D	34.0% A			27 繰出		0			•連合自治会征	设員原子				期			
			主原子	力発電施設	と等広報·調査	等交付金	115,040	13 使用料及び1	賃借料 (予備	i費	0			(6) ・近岡原子力を	発電所安	全等対策協議会の	(4市対協)視察	, 察研修及び負				
С			財					14 工事請負	費(度 施 開岡宗原丁)	力発電所	環境安全協議会的	負担金		内容			
E			源			A () =		15 原材料費	(合計	1	15,040			内容					変			
C		П	原子力発'	電施設広執	∵ 調査等交付会	金を活用し事業を	を実施すること	ができた。												更見			
評		ス											Р							込			
価		ト分析											L	, ├	計画額 前	 有	預 前年比	日土 江西	国庫支出金	県支出金	 地方債	その他	 一般財源
		析											A 実 N 行		1,696,000	326,		— <u> </u>			地力頂	0 0	△ 51,000
					事業指標・	·評価		R3年度	R4	 年度	R5年原	Ę	取計	-	地域団体、庁	内組織の	視察研修に係る約		<u>l</u> 金	R6		- 1	
				指標	i Ø	単現物	犬値 目標値	目標値 実終	責値 目標値	実績値	目標値	績値	り 画組 事		・連合自治会征・浜岡原子力を	没員原子 発雷所安	力研修会 全等庁内対策委貞	昌会視察研修	5	年			
				1日1分	:11	位年	度 年度	達成率評	価 達成率	評価	達成率		み業		・浜岡原子力 🦠	発電所安	全等対策協議会の	(4市対協)視察		10			
		指標	成果	視察研修6)実施	<u> </u>	.0 3.0	3.0 0.		2.0		2.0	· D 用		静岡県原子ス	刀発電所	環境安全協議会的	貝担金		較 増			
		評	1			1	1 7		66.7%	D	66.7%	D	0 5							減			
	±⊑	価	成果			0.		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実		実施					要因因			
	指標		2 			0.		0.0 0	0.0	0.0	100.0	0.0	施	F	施 R7 内								
	•		1			0.		3.0	- 0.0	5.0	0.0%	D		:	年「容」					R8 年			
	実施							の活動に及ぼす	影響に関する調	査及び連続	格調整に資す	るため								度			
	内		に父付され	しつ仏戦・訓	宜寺父付金に	より事業を実施	19 る。													増減			
	容	7																		見			
		業実																		み			
		実施内															事業の	目的と実施内	容との関連性	 上「有効性と妥当性	の説明		
		容													原子力発電に関する	る知識の							

対象分	E度	事業	美会計区分 一般	法会計 担当	4課	機管理課	担当係			重点事業				だ会館及びる						今後も施設の)機能を維持す	る必要が	ある。	
R:				護施設管理事業		成日·至[エ灬テス	_		設備 <i>σ</i> ⋅防護	の維持管理に 施設の説明:	ニ要する委 会や訓練	委託業剤 を実施	め費用を した。	支出した。						
110	\dashv			というでする と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	•						4			施設に必要を				を購入した						
	-																							
	-			原発への対応								4								事				
	-			市原子力防災対		四市 ※1-		1.7° J. 75 = 1		の機能用人に立	事	* 第	· 美							業				
			市災害対策を充実る より、放射線防護施	設として嶺田地区	ヹセンター及び	小笠南地	嶺田地区センター及 要な維持管理費	ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地区センダー(の機能保全に必	当	美 成 果	以 							題				
445	体		区センターの点検等 図る。	を適切に行い、抗	施設の対策機能	能保全を																		
総合	体系・概要										С													
合計画	概	事				事					E													
Ш		業 の				業 の					C													
		目的				概					評						各評値	 5結果				総	合判定評価	
											価しい	<u> </u>	事業=	コスト評価		指標	 評価		 事業	 内容評価				
											任	. .	ь I — А	般 財 源	-	1	В		評価視点	評価内容	В	事業の進	め方の改善	の検討
											分析	-	100.0	0% C	成果	2		効率性				R7年	■度の方向性	
			款「項」目	事業番号			│ 事業名称	7			- 総	יכו	lij	業コスト	D 効	1	D	有効性		計画の進捗と	成果 コス			
		予算	9 1 5		放射線防護施	設管理費	7.515	<u>'</u>				ᆲ	上 246.2		率	-		必要性		―――に近い状態⇔	(計 改善改善		①事業の	
		角	R4年度 F	R5年度 前:	年増減		才源 国庫支出金 県支		方債 その他	一般財源	元 元	Į Į	施設を	を活用した訓	練を実施	するこ	とができた	0				·		
		[]	1,003,000	3,304,000	2,301,000	329.4%	可訳 0 3,21	8,000	0	0 86,000	終 全 半 定 記 征	三 担平 当	_ 当 亚											
	ŀ		項目	R3年度	R4年度	R5年度		車業	費内訳		- "		# #											
			予算額	11,108,000	1,003,000		節	決算額	節	決算額	Δ						課題に	対する改善	喜案と想定され	れる成果及び今後の	方向性			
			決算額	11,106,440	1,002,980	3,302,255	5 01 報酬	0	16 公有財産		C b	· A	施設の機能	能を維持する	るためのメ	メンテナ	ンスを継紀	売する。						
			不用額	1,560	20		5 02 給料		17 備品購.) ! ! え													
			執行率 国庫支出金	100.0%	100.0%		03 職員手当等	_	18 負担金、補助 19 扶助費		I O N	Ş												
	事		旧士山仝	11,106,000	1,002,980		5 05 災害補償費		20 貸付金		改化	3												
	業コ	決算	財	0	0		0 06 恩給及び退職年金	_	21 補償、補填2		善													
	ス	河	源地方債内その他訳の問題を	0	0	0	07 報償費		22 償還金、利子)		款	項	目		事業番号				事業名称			
							08 旅費	0	23 投資及び	で山次へ			^	4				++	r 自. t. 幺自 仅七三茬 七年 =	心管细患				
	分	.]	一	440	0.0% ^	100.0%							9 3	9 9 9	5 前年増減	安百	900000		射線防護施設		地方信		この出	
	分析		前年比較	— D 1,385,000	0.0% A 605,000	100.0% C 656,000	09 交際費	0	24 積立金	() - - - -		予		5 前年増減 △ 2,168		前年比 34.	財源	国庫支出		地方債	0	その他 0	一般財源 3,00
	分析		一	— D		656,000	09 交際費	0 1,210,055) - - - -		予 1		前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	出金 県支出金 0 1,133,000 下			その他 0	一般財源 3,000
	分析		前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金			P	予 1	1,136,000	前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	出金 県支出金 0 1,133,000 下 期 実			その他 0	
С	分析		前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較	— D 1,385,000 12,491,440	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255	09 交際費 0 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費			R ^x 年	1 1 6	1,136,000	前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	出金 県支出金 0 1,133,000 下 期 実 施			その他 0	
СН	分析		前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金 予備費			R 年度	予 1 実施内	1,136,000	前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	出金 県支出金 0 1,133,000 下 期 実 施 内 容			その他 0	
С			前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金		5	年	予 1 字施	1,136,000	前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	H金 県支出金			その他 0	
СНЕСК			前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財源	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金 予備費			年	予 1 実施内	1,136,000	前年増減	3,000	前年比 34.	財源 4% 内訳	国庫支出	出金 県支出金			その他 0	
CHE		コスト	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財源	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金 予備費		P L	年	予 1 字施内容	1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設	8,000	前年比 34. ·小笠南)	財源 4% 内訳 万管理業務	务委託料	出金 県支出金 1,133,000 下期実施内容変更見込み		0	0	3,00
CHECK評		П	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財源	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0 1,210,055 0 948,200	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金 予備費		P L A 実	年度 年度 1	予 1 実施内容 計	1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設	8,000 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	前年比 34. ·小笠南) 前年比	財源 内訳 日本	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	その他 0 0	3,000
CHECK評		コスト分	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財源	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金	605,000 1,607,980 12.9% A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255	09 交際費 10 需用費 5 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費	0 1,210,055 0 948,200 4 0 0	24 積立金 25 寄附金 26 公課費 27 繰出金 予備費		P L A N取	年	予 1 字施内容 計 10	1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	0	3,00
CHECK評		コスト分	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 放射線防護施 放射線防護施設の	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 備品を購入したご	605,000 1,607,980 12.9% A ことにより、総事 評価 単 現	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 ま業コストが増額 状値 目標値	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 6となった。 R3年度 目標値 実績値	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0	24 積立金 25 寄附金 26 公課 27 繰出 合計	3,302,255 3,302,255 R5年度 目標値 実績値	PLAN取り組実行計画事	4度	予 1 字施内容 計 10	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	0	3,000
CHECK評	-	コスト分析	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の存	— D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 備品を購入したこ	605,000 1,607,980 12.9% A ことにより、総事 評価 単 現・ 位 年	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 業コストが増額 状値 目標値 E度 年度	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 ことなった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 R44 目標值 達成率	24 積立金 25 寄課金 27 繰出費 合計 年度 実績値 評価	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価	PLAN取り	4度	予 1 字施内容 計 10	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	0	3,000
CHECK評	-	コスト分析 指標	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 放射線防護施 放射線防護施設の	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 票名	605,000 1,607,980 12.9% A ことにより、総事 評価 単 現 位 年	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 ま業コストが増額 状値 目標値	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 6となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E 目標値 達成率 2.0	24 積立金 25 会 26 公繰 A 子 合計 本 年度 実績値 実績値 国 2.0 基	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0	PLAN取り組み・D実行計画事業 (戸	年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	予 1 字施内容 計 10	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	0	3,000
CHECK評	-] コスト分析 指	前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 主 放射線防護施 財源 放射線防護施設の何	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 票名	605,000 1,607,980 12.9% A ことにより、総事 評価 単位 現: 年 位 年 施 2	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4,00 1,0	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 ことなった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 R44 目標值 達成率	24 積立金 25 寄附費 27 繰出費 合計 合計 年度 実績値 E 評価 2.0 B 1 1	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価	PLAN取り組み・DO実行計画事業 (円)	年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	予 1 字施内容 計 10	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金	地方債	0	0	3,000
CHECK評価 -	-	コスト分析 指標評	TRANS	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 票名	1,607,980 12.9% A ことにより、総事 正といより。 からない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 6となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄課金 27 繰出費 合計 年度 実績値 評価 2.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・D実行計画事業 (戸	年度 三十回事集 一一	予 1 字施内容 計 10	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金 県支出金 1,133,000 下期実施内容変更見込み 最支出金 1,449,000 R6 年度比較増減	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標・	コスト分析 指標評	TRANS	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 票名	(605,000 1,607,980 12.9% A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 E標値 達成率 2.0 100.0%	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	Rotation Rotatio	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標・実	コスト分析 指標評価	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) 1.605,000	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度 三十回事集 一一	F	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1,136,000	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	Ha	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標・実施内	コスト分析 指標評価	Total Part	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) 1.605,000	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	Hamilton	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標·実施内容	コスト分析 指標評価 事	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) 1.605,000	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	出金	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標・実施内容	コスト分析 指標評価 事業	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) 1.605,000	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 - 放射線防護 - 画額 1	前年増減 △ 2,168 対策施設 前年増減 8,943	3,000 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	前年比 34. ·小笠南) 前年比 887.	財源 4% 内訳 7D 管理業務 財内 源源 財内 源源	国庫支出 務委託料 国庫支出	Hamilton	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標·実施内容	コスト分析 指標評価 事業実施内	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) (4 日本	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 • 放射線防護 0,079,000 • 放射線防護	前年増減 Δ 2,168 対策施 割 8,943 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減	8,000 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	前年比 34. ·小笠南) ·小笠南) ·小笠南)	14% PT	国庫支出 務委託料 国庫支出 の関連を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	出金 0 1,133,000 県 1,133,000 県 1,1449,000 県 1,449,000	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標·実施内容	コスト分析 指標評価 事業実施	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) (4 日本	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 • 放射線防護 0,079,000 • 放射線防護	前年増減 Δ 2,168 対策施 割 8,943 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減	8,000 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	前年比 34. ·小笠南) ·小笠南) ·小笠南)	14% PT	国庫支出 務委託料 国庫支出 務委託料	出金 0 1,133,000 県 1,133,000 県 1,1449,000 県 1,449,000	地方債	0	0	3,000
CHECK評価	指標·実施内容	コスト分析 指標評価 事業実施内	市保内が 前年比較 職員人件費 総事業コスト 前年比較 放射線防護施 放射線防護施設の 放射線防	一 D 1,385,000 12,491,440 900.8% D 設管理費補助金 講品を購入したご 事業指標・ 漂名	7 (4 日本) (4 日本	656,000 3,958,255 246.2% D 3,302,255 3,302,255 3,302,255 3,302,255 4	09 交際費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 5 13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費 2となった。 R3年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	0 1,210,055 0 948,200 0 0 0 0 1 E E E E E E D 100.0% 0.0	24 積立金 25 寄附费 27 繰出费 合計 合計 実績値 E 評価 2.0 B 1 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 を成率 評価 2.0 2.0 100.0 0.0	PLAN取り組み・DO実実行計画事業 (円)	年度	F	1,136,000 • 放射線防護 0,079,000 • 放射線防護	前年増減 Δ 2,168 対策施 割 8,943 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減 3 減	8,000 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	前年比 34. ·小笠南) ·小笠南) ·小笠南)	14% PT	国庫支出 務委託料 国庫支出 の関連を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	出金 0 1,133,000 県 1,133,000 県 1,1449,000 県 1,449,000	地方債	0	0	3,000

		業会計区		会計 担	当課	防災強靭化室	担当係		業事点重				舎北館解体工事 アした。	を12月に完	記了し、跡地の仏	反駐車場	め、市役所敷地一	内の工事が続くことから、計 帯として必要な駐車場を確	
R5		事業名 基本目標 政策	票 4 快適	解体整備事業 な環境で安心 力を高めるまっ	して暮らせる	まち											はならない。また、本庁舎北館はの建設予定地にな	が地は、今後予定しているジ っているため、建設後の駐	ミミ対策本部棟 車場確保が課題
体系・概		施策 災害は機能がある。		に強いまちを ^っ くるため、災害 ごきるよう、災害	つくります 発生時に災害 学対策本部棟(の整備を始 を図る。	市役所本庁敷地一	比館を解体し、跡地を 帯の防災体制の強靭	有効利用することで 化を図る。	I III III III III III III III III III	事業成果						事業課題		
T I B B	現 うの 目的	美 D 目				事 第 の 根 要	E E			E C K 評					各評価結	· ·果		総合判定記	平価
										価調が	平面分,算		ロスト評価 役財源	成	標評価 1 B	Ī	事業内容評価 評価内容	- B 事業の進め方のd	女善の検討
	子	2 R4	1 5	事業番号 400000 25年度 i	庁舎旧北館 前年増減	官解体整備事業 前年比	事業名称 財源 国庫支出金 県支		D他 一般財源	- - - - - +	総合 比	総事	***	効率	1	効率性 有効性 必要性 跡地を駅		改善 ①事刻	成果 維持 まの進め方
	F		0 項目 予算額	41,727,000 R3年度	41,727,000 R4年度		内訳 0 0 0 節	事業費内訳	6 41,727,000		担当評価		と 供 いきのよりに	·φ-J/Ξ。	まるこのである。	する改善⁵	案と想定される成果及び今後の方向	性	
	ī		決算額不用額執行率国庫支出金		0	0 41,516,53 0 210,47	0 01 報酬 0 02 給料 % 03 職員手当等 0 04 共済費	0 16 公有 0 17 備品 0 18 ^{負担金} 0 19 扶助	財産購入費 購入費 編助及び交付金	O C T I O N	本者	テ舎北館 に駐車ス	官と同様、老朽り くペースを提供し	とにより活用 っていく。			ンターを解体し跡地を駐車場として要		之内体育館和
事業コスト		内訳	県支出金 地方債 その他 一般財源		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0 05 災害補償費 0 06 恩給及び退職年金 0 07 報償費 0 08 旅費	0 20 貸付 0 21 補償、 0 22 償還金 0 23 投資	浦填及び賠償金 利子及び割引料 (0 改 ¹ 0 善		款 2	項 E	1	事業番号 400000	庁舎	事 ទ 旧北館解体整備事業	業名称	
が	Ť	職総	前年比較		0		00 10 需用費	0 24 積立 0 25 寄除 79,530 26 公詩 0 27 繰出	金費	000000000000000000000000000000000000000		予		F増減額 41,727,000	前年比 0.0%	財源内訳	国庫支出金 県支出金 0 0 下期	地方債 その他 0	0
		主財源	舎北館解体工				13 使用料及び賃借料 14 工事請負費 15 原材料費			0	R6 年 度	実施内容					実施内容変更		
i	コント会材	コ ス -								P L A	<u> </u>	計	画額前生	F 増減額	前年比	財源	変 更 見 込 み 国庫支出金 県支出金	地方債 その他	一般財
				事業指標票名		現状値 目標値 年度 年度	R3年度	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価	N取り組み	十 回 事		0	0		内訳	0 0 0 R6 年 度 比	0	0
指標		票 1	北館解体	工事の発注	件	0.0 0.0 0 0 0.0 0.0 0 0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0 0.0 0.0	・DO実施	<u>-</u>	実施内					較 増 減 要 因		
16・実施内容	E	1 老朽(l		だ館を解体し、↓	亦地を有効利	0.0 0.0 0 0 用することで市役	0.0 0.0 所本庁敷地一帯の防	0.0 0.0 			R7 年 度	容					R8 年 度 増 減 見 込		
	7 男が グ 名	美 包 与										本庁舎	舎北館解体整備	事業は今年			み 内容との関連性「有効性と妥当性」の対策強靱化事業基本計画に基づき。		っていく必要7

対象年度	事業	会計区分	— 船		担当課	防災強	鱼靭化室	担当係				重点事業				イル	こ危険性の高かるの剥落による危	険がなく7	なった。				場を長期	に広範囲に		の改修工事は とから、市役所	
R5 体系·脚	基	本目標 政策 施策 災害に強い 機能が確	4 快遊 1 防災 1 災害 いまちをつ 実に発揮	できるよう、災・也一帯の防災(きちづくり そつくります 書発生時に 害対策本部	災害対策 3棟の整(備を始	修工事を	実施するこ	る外壁の剥減 とで、利用者 まの強靭化を	の安全	されるため、外確保と市役所本	壁 改 庁	事業	事業成果	定し ま え	本の外壁改修工→ ている工事の発力				とで、次年	77 771 100	便となる 事業 課題	•			
1計画 要							事業の概要	E E					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 平		į –	カスト評価 般財源	成果	指標評价	В	評	·····································		西内容	- B 事業	総合判定評の進め方の改	善の検討
	予算円〕	款 項 2 1 R4年 項	5 度 F	事業番号 1200000 R5年度 29,260,000	庁舎外型 前年増減 29,260,00	前	年比	財源 国庫	事業名称 県支 の	出金 地方f	0	の他 一般財 29,26		・総合判定評価	24	市役	- D D 事業コスト - D 所敷地一帯の防	効	2 1 を強化し	安全を確	効率性 有効性 必要性 保するため	4:高い 4:高い 4:高い か、いち早いこ	──に近いり 画通り」	≛捗と成果 対態⇔「計	コスト 改善 る。		i性 対果 維持− の進め方
事業コスト分析	第一	予第 決不 執知 財源内訳 職総	草額 草額 用額 下車支出金 地子の財出債 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	100.0%	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	29,260,00 28,765,00 495,00 98.3 28,765,00 — D 1,486,00 30,251,00	00 01 報酬 00 02 給料 % 03 職員 0 04 共済 0 05 災害 0 06 恩給 0 07 報償 0 08 旅費	手当等 費 W	決算額 0 1 0 1 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2	16 公有月 17 備品 18 與組金 19 扶助 20 貸付供 21 補償、料 22 偽國金 23 投資 24 積立 25 寄附 26 公課	金 ^{浦填及び賠償金} 利子及び割引料 及び出資金 金 金	0 0	「「つり女」加える変化	次。 る。	款 2	1 5	目 5 年増減額 29,260,0 美務	修工事 12 i 前 00		や仮設計	を想定される 画を綿密に 外壁改修事 国庫支出金	業費	所の利用者 事類 出金 0		その他	一般財源
CHECK評価	コスト分析	主 財 源		へる外壁全体の				13 使用 ³ 14 工事 15 原材	料及び賃借料 請負費 ・料費	0 19,415,000 0	予備合計	費 28,76	5,000	o - - X 実行	R(年 度	実施内容	計画額 前4	年増減額		前年比	財源	国庫支出会			地方債	その他	一般財源
指標·実施内容	指標評価事	1 成果 2 効率 1 ・老朽化し	本庁舎外 る設計業 本庁舎外 注	事業指標名 標名 壁等改修工事務の発注 壁等改修工事本庁舎の外壁	事の発(件	年度 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	年度 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	回 目標値 達成率 0.0 0.0 0.0	年度 実績値 評価 0.0 0.0 0.0	R4年 目標値 : 達成率 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.		達成率 言 1.0 1 100.0% 1.0 1 100.0%	情値 価 0 3 0	7.女儿里が、20年版行計画事業(円)		実施内	0 ○本庁舎改修第 ・本庁舎外壁等		O Inst		内訳				0		
	業実施内容															市役	所敷地一帯の防	5災体制				内容との関連かいた早いこ					



対象	年度	事業	美会計区分	一般	会計 技	担当課	防災強靭	化室	担当係				重点事	業				町部地区センター					市役所敷地内で		を進めていくたる	か、スケジュー	ール管
F	5		 事業名	市役所敷	————— 地一帯防災対	———— 对策強靱化事	 業										·旧	義務を実施し現況で 町部地区センター	を安全に	:解体するための			理が重要になる	0.			
		差	基本目標	4 快適	 な環境で安心	して暮らせる	うまち										解探	対の積算や図面	作成が気	も了した。							
			政策		力を高めるま																						
			施策		に強いまちを											事						事					
						- フ、フェッ る豪雨等から	市民の生命	命と	菊川市防災	炎対策強 革	切化事業基	本構想に	位置付けら	れる市役	 	事 │ 業 業 │ 成						業 課 題					
			財産を守	るため、防	災対策の強靭	別化を図ること こ災害対策本	:は、重要/	かつ	所敷地一帮 •旧町部地	帯の防災権	幾能強化					果						題					
総	体		実に発揮	ごできるよう、	災害対策本	部棟の整備を	始め、市行	役所	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	区ピング	0万片 140久	い。日午物		IX.													
総合計	系•		本厅告别	地一帯の以	万災体制の強	館靭化を図る。									C												
画	概要	事業						事業							Е												
	女	の目						の概							C K												
		的						要							評	_				各評価結	i果 ————				総合判定	評価	
															計	平	事業	コスト評価	ŧ	指標評価		事業内容	評価	В 📱	፤業の進め方 <i>の</i>	改善の検討	,
																- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	_	一般財源	成	1	Ī	平価視点	評価内容		- 未07.0007710.	以古び民間	
															力	/T 算 • 前		_ D D	果	2	効率性		A 現状維持		R7年度の	方向性	
		予	款項	目	事業番号					事業名称					糸	総 年 合 比	総	事業コスト	効	1	有効性	4:高い	計画の進捗と所 に近い状態⇔「	計 二 八1	縮小↓	成果 維	推持→
		算	9 1	5	2000000	市役所敷						- /= - / -	5 /th	60.0475	. #	<u> </u>		— D D 16年度からは、円	率	* 本半 めこわ る ト	必要性	4:高い	画通り」	改善		事業統合	7全 某刀
		闬	R4年		5,940,000	前年増減 5,940,000	前年上	74.3	†源 □ ^{国庫支} 訳 □	. 田金 県文	出金 地方			般財源 5,940,000	5言 征	包 担平 当	化事	 業」に統合する。	1/月1〜芋オ	でにはいりいるか	ノロ 古り	`至以廖尹未]C'。	火石对水平即位	木正川サ木」で		市的久对来:	734 年/5
)			0,010,000	0,010,000				-	-	-		0,0 10,000	[[]												
				頁目	R3年度	R4年原		R5年度			事業費					価											
				算額 算額		0		5,940,000	館 May 01	<u> </u>	決算額		財産購入費	決算額	A C	複数	かの事	業を一本化するこ	ナで エ			案と想定される成	果及び今後のス	方向性 ————			
				弄碌 用額		0	0		01 報酬			17 備品		0	- I //)[]	X • 7 -	** *** *******************************		子と17月1年207							
				行率					03 職員=	手当等			補助及び交付金	0	I	える変ヒ											
	事			庫支出金		0	0	0	04 共済			19 扶助			N N d	変 ヒ.											
			財	昊支出金 地方債		0	0	0	05 災害神			20 貸付	金 捕填及び賠償金		改 善												
	コス	算	内	その他		0	0		00 恐帽及				利子及び割引料	0			款	項目	1	事業番号				事業名称			
	ト分	闩	訳	一般財源		0		5,940,000	08 旅費				及び出資金	0			9	1 5		2000000	市役	设所敷地一带防災					
	析		$\overline{}$	前年比較	100.0%	C 100.0%	C -	_ D	09 交際到			24 積立		0					F増減額	前年比	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般則	 材源
				人件費 業コスト		0	0	284,000 6.224.000	10 需用 3			25 寄附 26 公課		0				・災害対策本部	5,940,00 棟新築に		P 3 G/C	U			U	U	- 0
				F比較	100.0%	C 100.0%	С -	– D	12 委託料		5,940,000			0				・旧町部地区セン・市役所本庁舎の		媒体及び仮駐車≒ 修工事	易の整備		期実				
С			主 財						13 使用料		0	予備	費	0		R6 年 度	実						施				
H			財 源						14 工事記 15 原材料		0	合計		5.940.000		度	施内						容				
C			旧町部地	区センター	の解体工事	及び解体後の	跡地整備	の費用を利						, ,			容						変し				
K 評		コス													Р								見込				
価		ト分													L			-1	_ 144 - 5 - 4 - 7				み	1.1 _L_10	W	40.0	7.1.75
		析													A 月 N 名	実 〒	_		F増減額 20,422,00	前年比 O	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般則	財源 122,000
					事業指	標∙評価			R3年	F度	R4 [±]	 丰度	R54	 年度	取言	 		•災害対策本部	棟新築工	事		, ,	R6			0 020, 11	22,000
				指標	票名	単	現状値	目標値	目標値			実績値	目標値		り 圓 組 勇			・市役所本庁舎の		修工事 也整備設計業務勢	委託		年度				
		指	# #			位	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	み	業							比				
		標	成果 1	災害対策: 発注	本部棟新築コ	エ事の 注 # #	0.0 5	1.0 7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	DF	可							増				
		評価	成果	本庁舎外	壁等改修工事	事の発 ^数	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実	7	実						減				
	指標		2	注		件数	5	7							施	R7	施						因				
	•		効率 1				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		年度	容						R8 年				
	実施				一跡地測量業				<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		区							度				
	内		・旧町部:	心区センター	−解体設計業	- 7分																	増減				
	容	事業																					見込				
		実施																					み				
		内															,,, -1	3.00 Lati-/// == 11	<i>h</i> /r =↓ ≠≈ −			内容との関連性「			2 2 2 4 4 1	## 6 #4 #/ / !	L## =
		容																『発生時に災害対 別化を引き継き図る			伸するた	めには、災害対策	R本部棟の整備	で始め、市役	∬本厅舎敷地⁻	一帝の防災体	、制の